



SmartOn® Solo **V1.2**

ユーザーズガイド（USB2-NFC、NFC-ST、NFC-RW 対応版）

株式会社ソリトンシステムズ

2008 年 5 月

- ・本書は Soliton SmartOn® Solo に関する導入、操作方法、および注意事項を記述したものです。
- ・本書の著作権は株式会社ソリトンシステムズに帰属します。
- ・本書の一部、または全部について株式会社ソリトンシステムズの承諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複写・複製・転載することは禁じられています。
- ・「SmartOn®」は株式会社ソリトンシステムズの登録商標です。
- ・「SmartOn® Solo」は株式会社ソリトンシステムズの開発製品です。
- ・FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- ・FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
- ・その他、本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標および登録商標です。
- ・製品仕様などは改良のため、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

目次

1. はじめに	1
1.1 インストール前の注意	1
1.2 用語の説明	3
2. 製品の概要	5
2.1 概要	5
2.1.1 機能	5
2.1.2 特徴	6
2.2 認証トークン	6
3. インストール/アンインストール	7
3.1 動作環境	7
3.2 ライセンスコード	8
3.3 インストール前の準備	8
3.3.1 認証デバイスの設定	8
3.3.2 トークンの準備	9
3.3.3 Windowsアカウントの作成	10
3.3.4 自動ログオン設定の解除	11
3.3.5 アプリケーションの終了	13
3.4 インストール	14
3.4.1 新規インストール	14
3.4.2 上書きインストール	23
3.5 アンインストール	27
4. Soloマネージャーによる設定	29
4.1 Soloマネージャーの起動	29
4.1.1 SmartOn Solo起動時のSoloマネージャーの起動	29
4.1.2 SmartOn Solo未起動時のSoloマネージャーの起動	30
4.2 設定	32
4.2.1 ユーザー情報	32
4.2.2 設定	35
4.2.3 ログ	36
4.2.4 ログ	37
4.2.5 バージョン	39
4.3 Soloマネージャーの終了	40
5. Soloクライアントの動作	41
5.1 認証サービスの初期化作業	41
5.2 ログオン処理(Solo認証が必須でない場合)	42
5.2.1 Soloログオン画面の表示	43
5.2.2 Solo認証画面	43
5.2.3 Windows自動ログオン	44
5.2.4 Windowsログオン画面	45
5.2.5 Windows使用可能状態	45
5.3 ログオン処理(Solo認証が必須の場合)	46
5.3.1 Soloログオン画面の表示	47
5.3.2 Solo認証画面	47
5.3.3 サブパスワード認証および緊急パスワード認証	49
5.3.4 Windows自動ログオン	50
5.3.5 Windowsログオン画面	50
5.3.6 Windows使用可能状態	50
5.4 PCロック/ロック解除	51
5.4.1 PCロック機能	51
5.4.2 PCロック解除機能	53
5.5 パスワード変更	58
5.5.1 Soloマネージャーからの変更	58
5.5.2 タスクトレイのSoloアイコンからの変更	59
5.6 Windowsパスワード変更	60

5.7	タスクトレイのSoloアイコン	61
5.8	PCの省電力機能対応について	62
5.9	ファイル・フォルダ隠し機能	63
5.9.1	ログフォルダおよびログファイルが表示されるSoloユーザーの条件	63
5.9.2	ログフォルダおよびログファイルの閲覧権限によるログフォルダの表示の違い	64
6.	緊急パスワード認証機能	66
6.1	緊急パスワード認証ウィザードの操作	66
6.1.1	ログオン画面からの操作	66
6.1.2	PCロック解除画面からの起動	67
6.2	緊急パスワード認証手順	68
6.2.1	解除キー認証	68
6.2.2	解除コード認証	69
6.3	緊急パスワード認証後の動作	69
6.3.1	Windowsログオン画面からの解除	69
6.3.2	Windowsロック画面からの解除	69
7.	制限事項・注意事項	70
7.1	制限事項	70
7.2	注意事項	72
7.3	トークンを利用するアプリケーション使用時の注意点	73
8.	困ったときは	74
8.1	よくある質問	74
付録		77
付録A.	メッセージ一覧	78
インストール		78
アンインストール		80
ログオン前		81
Solo認証(ログオン/PCロック時のパスワード入力またはトークンセット画面)		83
サブパスワード認証		84
緊急パスワード認証		84
Soloマネージャー起動		85
Soloマネージャー設定		85
Soloマネージャー終了		90
パスワード変更		90
付録B.	ログ出力内容一覧	91
ログ出力例		91
Logon		91
Solo(Manager)		94
Solo Hide Module		95

1. はじめに

この章では、SmartOn Solo の概要、インストール前の一般的な注意事項、および本書内で使用している用語について説明します。

1.1 インストール前の注意

SmartOn SoloはPCセキュリティ製品です

インストール前に本書を必ずご一読ください。また、リリースノートの記載事項もご確認ください。リリースノートと本書に違いがある場合は、リリースノートの記載を優先してください。

SmartOn Solo をインストールするには管理者権限が必要です。インストール時に設定したサブパスワード認証用パスワードは忘れないようにしてください。



注意： サブパスワード認証用パスワードを忘れた場合、復旧方法がありません。必ずメモをとり、安全な場所に保管してください。

認証トークン、認証デバイスと連携する製品です

SmartOn Solo は、認証デバイス(ICカードリーダーライター)、認証トークン(ICカード)との組合せで動作する製品です。**必ず、ICカードリーダーライターのドライバソフトウェアがインストールされていること、認証デバイスが認識されていることを確認してから、SmartOn Solo をインストールしてください。**

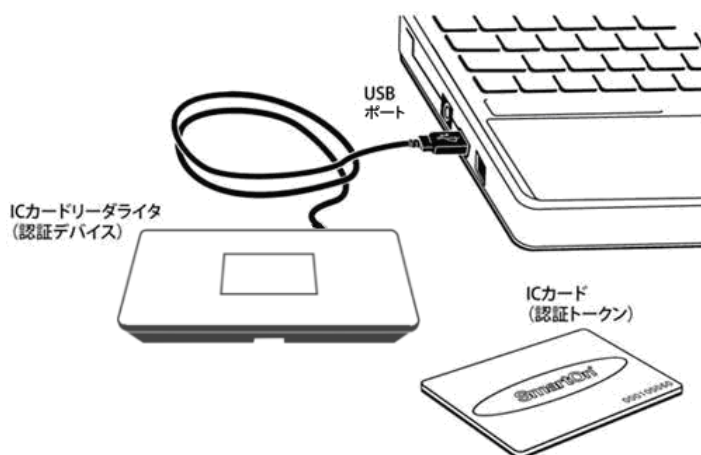


図 1.1.1 認証デバイスの接続

認証デバイスのドライバソフトウェアのインストール方法については、認証デバイス付属の説明書を参照してください。



注意： 認証デバイスが認識されていない状態では、SmartOn Solo はインストールできません。認証デバイスのドライバソフトウェアは、「3.1 動作環境」の表 3.1.1「動作確認済み認証デバイス」に明記されたものを使用してください。

PC に複数のリーダーが接続されている場合は、使用するリーダー以外をはずしてください。**複数のリーダー接続はサポート対象外です。**

本バージョンは、Windows XPのみに対応しています

動作環境については、「3.1 動作環境」を参照してください。

トークン対応のアプリケーションを利用する場合の注意

SmartOn Solo 利用時に他のトークン対応のアプリケーションを利用する場合は、SmartOn Solo の動作モードの指定で、**「トークンを外したら、コンピュータをロックする(L)」**チェックボックスを無効にしてください(「3.4.1 新規インストール」を参照してください)。

また、他のトークン対応のアプリケーションを利用する場合の注意事項が、「7.3 トークンを利用するアプリケーション使用時の注意点」に記載されていますので、必ず参照してください。



注意：「トークンを外したら、コンピュータをロックする(L)」チェックボックスが有効になっている状態で IC カードの他アプリケーションを使用すると、コンピュータ(PC)はロックされます。

Windowsのアカウント/パスワード情報

Windows のログオン認証で使用するアカウント/パスワード情報は、忘れないようにしてください。SmartOn Solo をインストールする前に、Windows のアカウント/パスワード情報をご確認ください。



注意：Windows のアカウント/パスワード情報を忘れた場合、SmartOn Solo をアンインストールした後に Windows にログオンできません。

1.2 用語の説明

本書で使用する用語について説明します。

他の SmartOn シリーズと用語を統一させるため、SmartOn Solo V1.2.2 では V1.2.0 から以下の用語が変更になりました。

表 1.2.1 変更になった用語

V1.2.0	V1.2.2
カード	トークン
PIN	パスワード

- **FeliCa**

ソニー株式会社が開発した非接触 IC カード技術方式です。本書では、FeliCa(フェリカ)を搭載した IC カード(FeliCa カード)を対象にした SmartOn Solo の使用方法を説明しています。FeliCa は FeliCa カードを示す用語としても使用されます。

- **USB2-NFC、NFC-ST、NFC-RW**

株式会社アイ・オー・データ機器が提供する、NFC 対応の IC カードリーダーです。本書では、これらの IC カードリーダーを対象にした SmartOn Solo の使用方法を説明しています。

- **TN31_NFC**

NFC 対応の IC カードリーダー(USB2-NFC、NFC-ST、NFC-RW)のデバイスドライバの名称です。

- **Solo 認証**

SmartOn Solo の認証画面で認証することです。Windows のログオン認証と区別するために Solo 認証という用語を使用します。Solo 認証は SmartOn Solo に対する認証処理です。

- **Solo マネージャー**

SmartOn Solo の設定ツールです。

- **Solo クライアント**

SmartOn Solo がインストールされた PC です。

- **Solo アイコン**

Solo クライアントのタスクトレイに登録されるアイコンです。Solo アイコンにマウスカーソルを合わせてダブルクリックすると Solo マネージャーを起動できます。右クリックするとメニューが表示され、Solo マネージャーの起動や PC ロック機能、パスワードの変更を行うことができます。

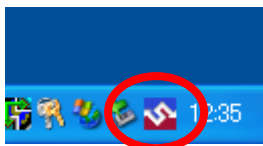


図 1.2.1 Solo アイコン

- **Solo ユーザー**

SmartOn Solo 上でユーザーを識別するためのユーザーの呼称です。IC カードと対に SmartOn Solo に登録されます。登録される Solo ユーザー情報には Windows アカウントが含まれます。

- **トークン**

Solo クライアント上で Solo 認証を行うためのデバイス(IC カード)です。

- **パスワード**

SmartOn Solo との認証で使用される、トークンにアクセスするための暗証番号です。Windows アカウントのログオン用パスワードなどとは別のものです。

- **サブパスワード認証**

SmartOn Solo は、トークンによる認証によりログオン処理やコンピュータのロック解除処理を主に行いますが、トークンを紛失した場合の認証方法として、パスワードによる認証をサポートしています。SmartOn Solo に対するパスワードを使用した認証方法をサブパスワード認証とよびます。

- **オペレータ**

解除コードを発行する権限を持つユーザーです。

- **Solo Encrypt**

SmartOn Solo Encrypt の略称です。Solo 暗号化機能を提供する SmartOn Solo の拡張モジュールです。

2. 製品の概要

この章では、SmartOn Solo の概要について説明します。

2.1 概要

SmartOn Solo は、個人での使用を目的とし、PC のログオン制御、ロック機能に特化した PC セキュリティ製品です。SmartOn Solo の設定は、インストールした PC ごとに行う必要があります。

2.1.1 機能

SmartOn Solo は、以下の機能を提供します。

ログオン機能

Solo マネージャーの設定により、ログオン時の認証モードを以下のように設定できます。

- パスワード認証によるログオン

Windows ログオン処理を行う前に SmartOn Solo の認証画面が表示されます。トークンをセットした後、トークンを認証するためにパスワードを入力し、Solo 認証および Windows ログオン処理を行うモードです。

- トークン確認のみ（パスワード認証不要）による自動認証

Windows ログオン処理を行う前に SmartOn Solo の認証画面が表示されます。トークンをセットするだけで Solo 認証および Windows ログオン処理を行うモードです。パスワードを入力する必要はありません。

また、ログオン時に必ず Solo 認証を行うように設定できます。

PCロック/PCロック解除機能

Solo マネージャーの設定により、PC ロック/PC ロック解除時のモードを以下のように設定できます。

- PC ロック時

- トークンを外すと PC がロック状態になります
- トークンを外しても PC がロック状態になりません

- PC ロック解除時

- パスワード入力とトークンの確認で PC ロックを解除します
- トークンの確認のみ（パスワード入力が不要）で PC ロックを解除します

PCロックとスクリーンセーバーとの同期

スクリーンセーバーの設定（Windows の設定）で、**【パスワードによる保護(P)】**チェックボックスが有効になっている場合、スクリーンセーバー起動時に PC がロック状態になります。

ログ出力機能

Solo マネージャーの設定により、Solo 認証によって Windows ヘログオンしたユーザーや SmartOn Solo に関する状況をログファイルとして記録できます。記録されるログファイルの内容は以下の通りです。

- SmartOn Solo の起動・PC ロック・PC ロック解除認証・ログオフ・シャットダウン
- Solo マネージャーの起動・設定保存
- Solo ユーザーの Solo 認証・Windows ログオン・Windows ログオフ
- Solo ユーザーのパスワード変更・Windows アカウントのパスワード変更

Soloマネージャー

Solo マネージャーは、以下の機能を提供します。

- 新規ユーザー登録、変更、削除
- SmartOn Solo の認証モードなどの設定
- SmartOn Solo の認証ダイアログのロゴ画像の変更
- ログ機能の設定
- ライセンスの登録

Soloアイコンからの操作

Solo アイコンからは、以下の操作ができます。

- パスワード変更
- Solo マネージャーの起動
- PC ロックの実行
 - Solo マネージャーの設定で、**[トークンを外したら、コンピュータをロックする(L)]**チェックボックスを無効にしている場合でも、この操作を行うことにより PC ロックを実行できます。

2.1.2 特徴

SmartOn Solo には以下の特徴があります。

- トークン紛失時に対応
 - トークンを紛失した際にサブパスワード認証で Solo 認証をキャンセルすることができます。ただし、サブパスワード認証用パスワードを忘れると、復旧の方法がありませんので注意してください。
- 簡単設定・簡単導入
 - インストール時にウィザードによる設定を行いますので、インストール後に SmartOn Solo をすぐに使用できます。
 - Solo マネージャーを使用して、設定変更および新規ユーザー登録を簡単に行うことができます。

2.2 認証トークン

SmartOn Solo は、FeliCa に対応した製品です。FeliCa を搭載している様々な IC カードを、SmartOn Solo の認証トークンとして使用することができます。

3. インストール/アンインストール

この章では、動作環境および対応する認証トークン、インストール前の準備、インストール方法およびアンインストールについて説明します。

3.1 動作環境

SmartOn Solo の動作環境は、以下の通りです。

- オペレーティングシステム
 - Windows XP Professional 日本語版 (SP2)
 - Windows XP Home Edition 日本語版 (SP2)

※SP:Service Pack の略称



注意: 各サービスパックについては、以下のURLをご確認ください。
<http://www.microsoft.com/japan/windowsxp/sp2/default.mspx>

- CPU
 - 使用するオペレーティングシステムに依存 (Windows が快適に動作する CPU)
- メモリ
 - 使用するオペレーティングシステムに依存 (256MB 以上を推奨)



注意: SmartOn Solo と共存するアプリケーションが多い場合、より大きなメモリが必要になることがあります。

- 必要デバイス
 - IC カードリーダーライター (アイ・オー・データ機器製 USB2-NFC、NFC-ST、NFC-RW)
 - IC カード (FeliCa)



注意: 最新情報は、弊社ホームページの以下の URL をご確認ください。
<http://www.soliton.co.jp/products/smarton/solo/index.html>

動作確認済みデバイス

認証デバイスは、動作確認済みのものをご使用ください。動作確認済みの認証デバイスは、以下の通りです。

表 3.1.1 動作確認済み認証デバイス

認証デバイス名		製品製造者	ドライババージョン
NFC 対応 IC カードリーダライタ			
	USB2-NFC	アイ・オー・データ機器	32.1.4.0
	NFC-ST	アイ・オー・データ機器	32.1.4.0
	NFC-RW	アイ・オー・データ機器	32.1.4.0



注意： 表 3.1.1 の「動作確認済み認証デバイス」に明記されていないバージョンのドライバがインストールされている場合、SmartOn Solo は動作しない可能性があります。

3.2 ライセンスコード

SmartOn Solo のライセンス登録はインストール時に行います。

インストールされているライセンスの表示、登録方法は「4.2.5 バージョン」の「ライセンスの登録(L)...」項目を参照してください。

3.3 インストール前の準備

SmartOn Solo のインストールでは、インストール時に使用するトークンおよび Solo ユーザーを登録するウィザードが実行されます。SmartOn Solo をインストールする前に以下の項目を確認してください。



注意： SmartOn Solo をインストールするには、ローカル PC の管理者権限が必要です。

3.3.1 認証デバイスの設定

SmartOn Solo には、認証デバイス(IC カードリーダライタ)が必要です。SmartOn Solo をインストールする PC に認証デバイスのドライバソフトウェアをインストールし、認証デバイスが接続されていることを確認してください。

認証デバイスのドライバソフトウェアは、弊社で動作確認済みのものを使用してください。認証デバイスのドライバソフトウェアのインストール方法については、認証デバイス付属の説明書を参照してください。

正常にドライバソフトウェアがインストールされ、認証デバイスが接続されている場合、デバイスマネージャで以下のように確認できます。

1. **【スタート】**メニューから**【マイコンピュータ】**を右クリックし、**【プロパティ(R)】**を選択します。
2. 「システムのプロパティ」画面が表示されます。**【ハードウェア】**タブの**【デバイスマネージャ(D)】**ボタンをクリックします。
3. デバイスマネージャが起動して、デバイスの種類が一覧表示されます。
認証デバイス(TN31_NFC)に問題がない場合、図 3.3.1 のように表示されます。

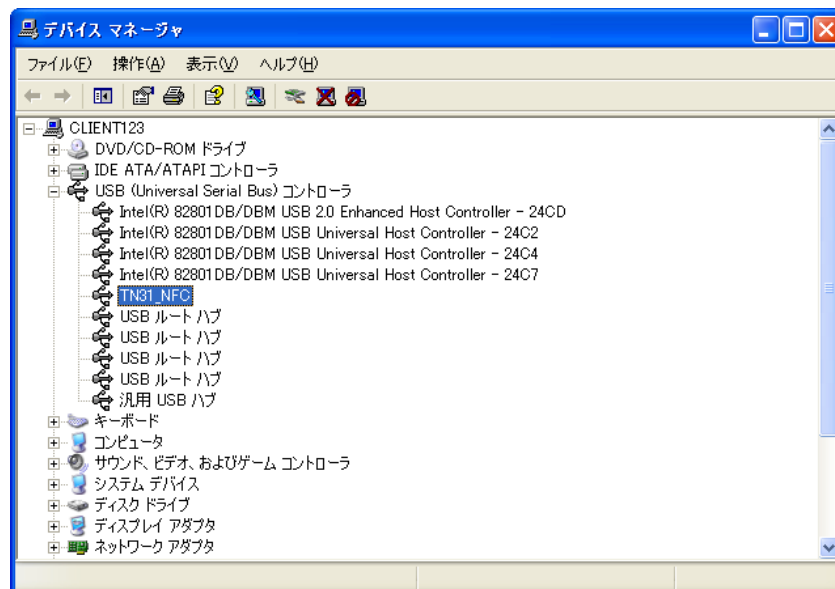


図 3.3.1 デバイスマネージャ

3.3.2 トークンの準備

SmartOn Solo は、インストール時にトークンの登録を行います。インストール前に登録するトークンを用意してください。

3.3.3 Windowsアカウントの作成

SmartOn Solo は、インストール時に Windows のアカウント情報を登録します。インストール前に登録する Windows アカウントを作成してください。

PC がドメインに参加している場合は、ドメイン管理者が Windows アカウントを作成します。インストール時に登録する Windows アカウントについては、ドメイン管理者にお問い合わせください。

Windows アカウントを作成する手順は以下の通りです。

1. **【スタート】メニューから【コントロールパネル(C)】-【ユーザーアカウント】**を選択すると、図 3.3.2 の「Windows アカウントの作成」画面が表示されます。



図 3.3.2 Windows アカウントの作成

2. **【新しいアカウントを作成する】**を選択し、画面の指示にしたがって新しい Windows アカウントを作成します。

3.3.4 自動ログオン設定の解除

自動ログオンとは、PC 起動時に Windows アカウント名とパスワードを入力し Windows にログオンするという処理を省略して、あらかじめ設定した特定の Windows アカウントで自動的にログオンする機能です。PC 起動時に図 3.3.3 の「Windows ログオン(クラシック)」画面、または図 3.3.4 の「Windows ログオン(ようこそ)」画面が表示されない場合は、自動ログオンが有効になっています。



図 3.3.3 Windows ログオン(クラシック)



図 3.3.4 Windows ログオン(ようこそ)

SmartOn Solo は、自動ログオンが設定されている PC にはインストールできません。ここでは、設定されている自動ログオンの設定を解除する方法を以下のケースごとに説明します。

- ドメインに参加している Windows XP Professional の場合
- ドメインに参加していない Windows XP Professional、または Windows XP Home Edition の場合

ドメインに参加しているWindows XP Professionalの場合

ドメインに参加している Windows XP Professional の自動ログオンを解除するには、ローカル PC の管理者権限のある Windows アカウントでログオンして、レジストリを変更してください。



警告:レジストリに不正な値を書き込んでしまうと、システムに重大な障害をおよぼし、最悪の場合、Windows が起動しなくなる可能性があります。レジストリを編集する場合は、万が一に備えてバックアップを作成し、ご自身の責任にて行うようにしてください。本書にしたがって操作を行い不具合が出た場合でも、弊社では責任を負いかねますのでご了承ください。

解除手順は以下の通りです。

1. **[スタート]メニューから[ファイル名を指定して実行(R)]**を選択すると、図 3.3.5 の「ファイル名を指定して実行(レジストリエディタ起動)」画面が表示されます。

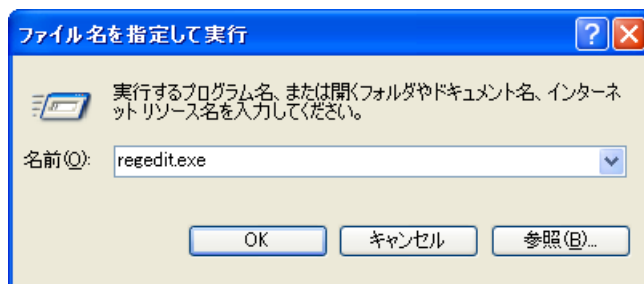


図 3.3.5 ファイル名を指定して実行(レジストリエディタ起動)

2. 「regedit.exe」と入力して**[OK]**ボタンをクリックすると、図 3.3.6 の「レジストリエディタ」画面が起動されます。

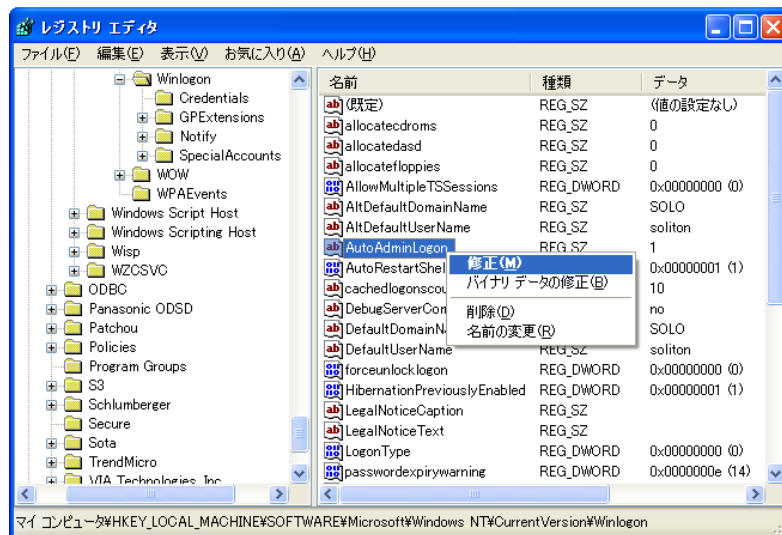


図 3.3.6 レジストリエディタ

3. レジストリエディタを使用して以下のフォルダを探します。ここで、**[AutoAdminLogon]**を選択し、右クリックして表示されるポップアップメニューから**[修正(M)]**を選択し、値を「0」に変更します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Windows NT\CurrentVersion\Winlogon

ドメインに参加していないWindows XP Professional/ Windows XP Home Editionの場合

ドメインに参加していない Windows XP Professional、または Windows XP Home Edition で自動ログインを解除するには、以下の設定を行ってください。

1. **【スタート】メニューから【ファイル名を指定して実行(R)】**を選択すると、図 3.3.7 の「ファイル名を指定して実行(ユーザーアカウント起動)」画面が表示されます。

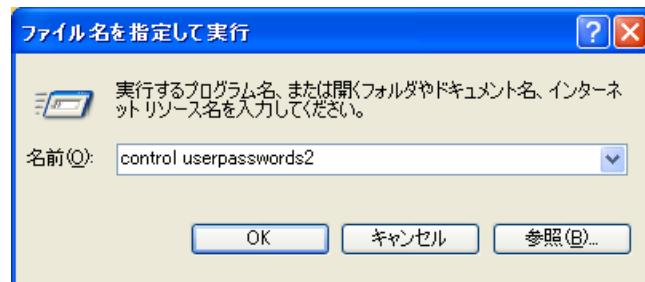


図 3.3.7 ファイル名を指定して実行(ユーザーアカウント起動)

2. 「control userpasswords2」と入力して**【OK】**ボタンをクリックすると、図 3.3.8 の「ユーザーアカウント」画面が表示されます。

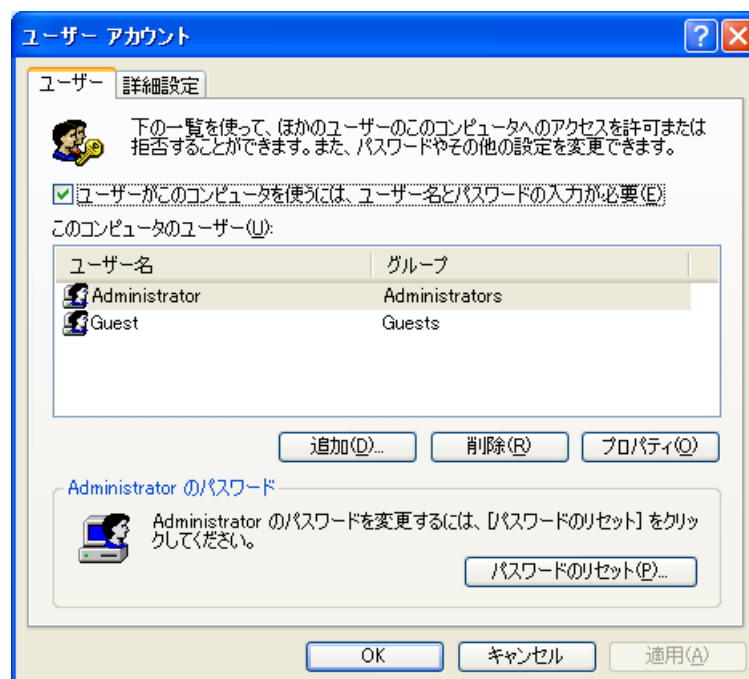


図 3.3.8 ユーザーアカウント

3. **【ユーザーがこのコンピュータを使うには、ユーザー名とパスワードの入力が必要(E)】**チェックボックスを有効にして、**【OK】**ボタンをクリックします

3.3.5 アプリケーションの終了

SmartOn Solo のインストールを行う前にすべてのアプリケーションを終了させてください。

3.4 インストール

SmartOn Solo をインストールする方法として、新規にインストールする方法（新規インストール）と既存の SmartOn Solo を上書きしてインストールする方法（上書きインストール）の 2 種類があります。Solo クライアントに対して新しいバージョンの SmartOn Solo をインストールする場合は、上書きインストールを行います。

3.4.1 新規インストール

SmartOn Solo を新規インストールするには、ローカル PC の管理者権限が必要です。ローカル PC の管理者権限をもつ Windows アカウントでログインし、新規インストールを行ってください。

新規インストールの手順は以下の通りです。

1. SmartOn Solo のインストールパッケージ付属の製品 CD-ROM を CD ドライブにセットすると、セットアッププログラムが自動的に起動され、図 3.4.1 の「SmartOn セットアップメニュー」画面が表示されます。



注意： 図 3.4.1 の「SmartOn セットアップメニュー」画面が自動的に表示されない場合は、製品 CD-ROM 内の「SSOlaunch.exe」をダブルクリックしてください。

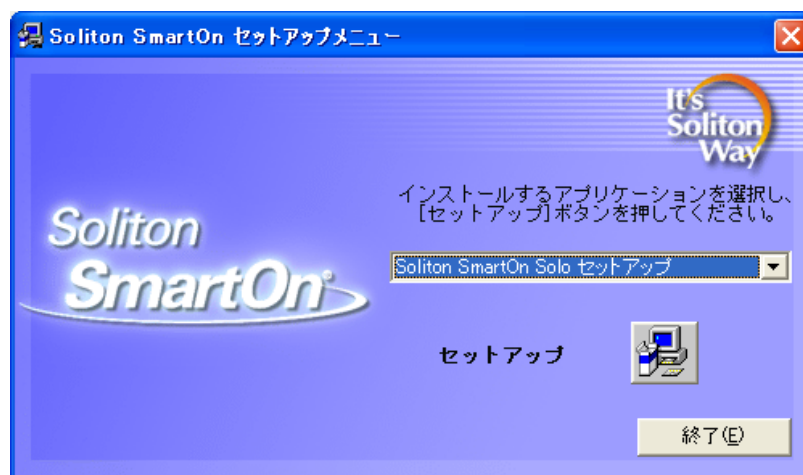


図 3.4.1 SmartOn セットアップメニュー



注意： セットアップを開始する前に、必ず README をご一読ください。README を表示するには、図 3.4.1 のプルダウンメニューから「はじめにお読みください(README)」を選択し、[セットアップ]ボタンをクリックしてください。

2. **「Soliton SmartOn Solo セットアップ」**を選択して**「セットアップ」**ボタンをクリックすると、図 3.4.2 の「インストールの開始」画面が表示されます。



図 3.4.2 インストールの開始

3. **[次へ(N)>]** ボタンをクリックすると、図 3.4.3 の「使用許諾契約」画面が表示されます。

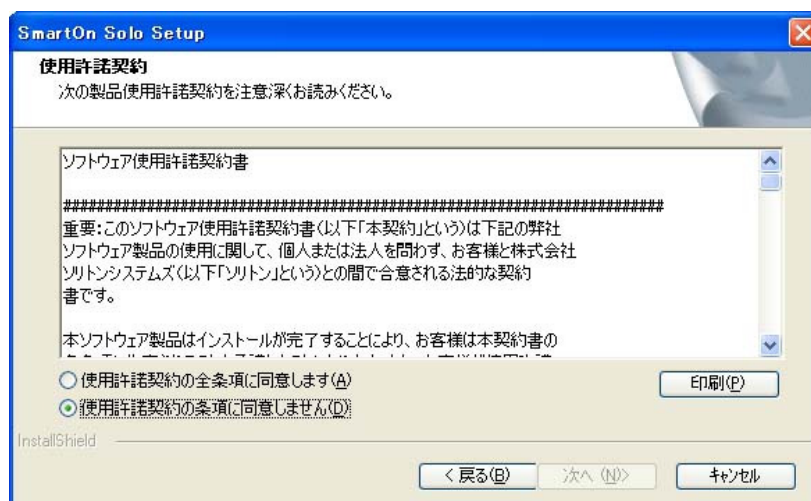


図 3.4.3 使用許諾契約

4. 使用許諾契約をよく読んで**[使用許諾契約の全条項に同意します(A)]**を選択し、**[次へ(N)>]** ボタンをクリックすると、図 3.4.4 の「インストール先の選択」画面が表示されます。使用許諾に同意しない場合は、インストールすることはできません。

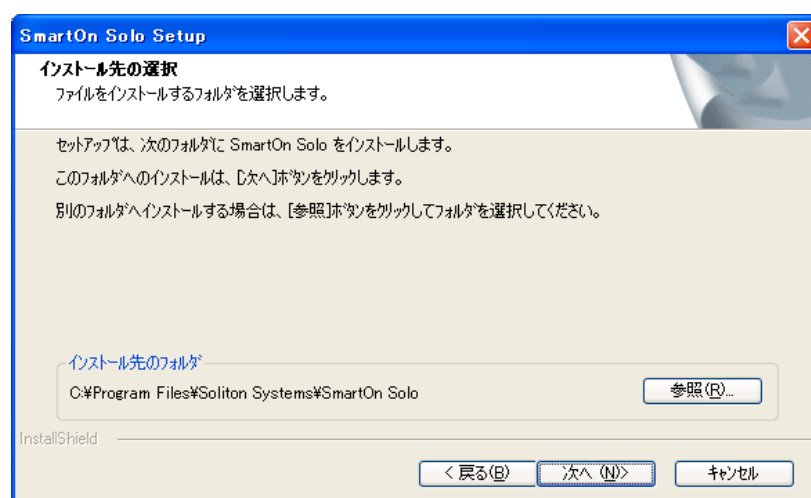


図 3.4.4 インストール先の選択

5. **【参照(R)...】**ボタンをクリックすると、SmartOn Solo のインストール先を変更できます。**【次へ(N)>】**ボタンをクリックすると、図 3.4.5 の「プログラムフォルダの選択」画面が表示されます。

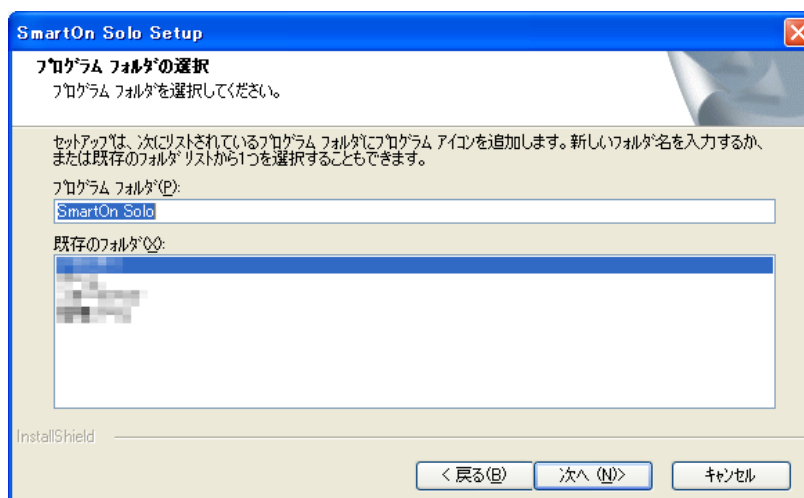


図 3.4.5 プログラムフォルダの選択

6. SmartOn Solo のプログラムアイコンを追加するフォルダを指定して**【次へ(N)>】**ボタンをクリックすると、SmartOn Solo の拡張機能に関する設定を行う図 3.4.6 の「追加機能の選択」画面が表示されます。

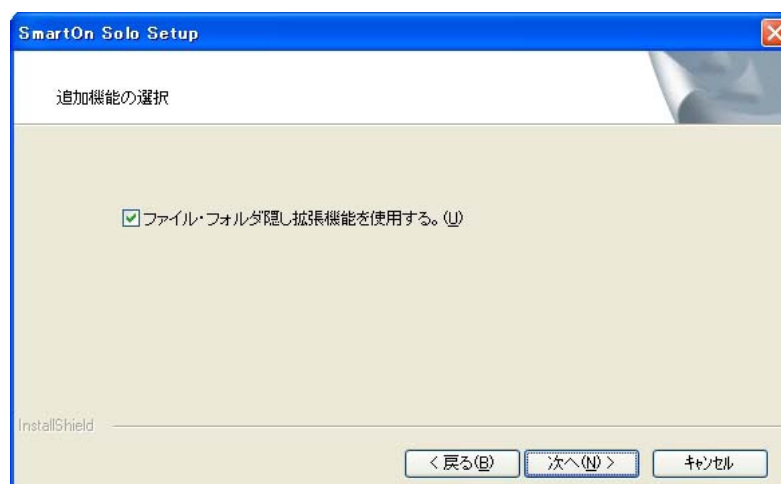


図 3.4.6 追加機能の選択

7. **【ファイル・フォルダ隠し拡張機能を使用する。(U)】**チェックボックスを有効にすると、ログ機能を使用する場合にログフォルダおよびログファイルを保存するフォルダを隠すことができます。**【次へ(N)>】**ボタンをクリックすると、図 3.4.7 の「ライセンスキーを入力して下さい」画面が表示されます。



図 3.4.7 ライセンスキーを入力して下さい

8. ライセンスキーを入力して、**[OK]**ボタンをクリックすると、図 3.4.8 の「リーダの接続とトークンを確認」画面が表示されます。

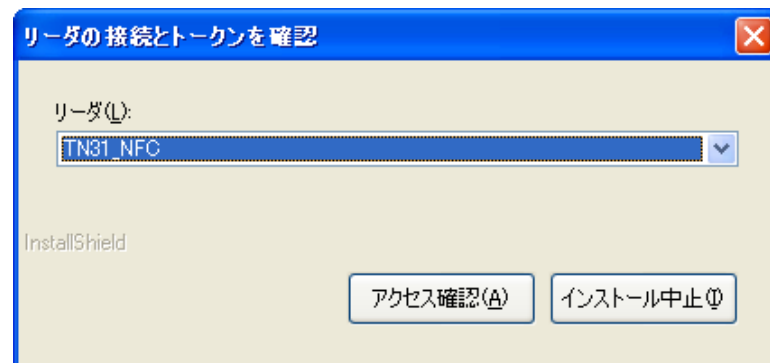


図 3.4.8 リーダの接続とトークンを確認

- **[リーダ(L)]**には、接続されている認証デバイスが表示されます。トークンをセットして**[アクセス確認(A)]**ボタンをクリックすると、トークンが使用可能かどうかを確認します。
- トークンがセットされていない場合、またはセットされているトークンから必要な情報が取得できない場合は、図 3.4.9 の「トークン情報の取得失敗」画面が表示されます。



図 3.4.9 トークン情報の取得失敗

9. 図 3.4.8 の[アクセス確認(A)]ボタンの実行に成功すると、図 3.4.10 の「新しいユーザーの登録」画面が表示されます。ここで、ユーザー名など Solo ユーザーの登録に必要な項目を入力します。

図 3.4.10 新しいユーザーの登録

各項目の設定内容は以下の通りです。表 3.4.1 の「入力値の制限」を参照してください。

- **シリアルナンバー**

トークンの固有情報が表示されます。ユーザー登録で使用するトークンを変更する場合は、トークンをセットして[**トークンの変更(G)**]ボタンをクリックすると、新しいトークンのシリアルナンバーが表示されます。

- **ユーザー名(U)**

トークンの所有者の名前など、Solo ユーザーを識別できる情報を入力します。

- **パスワード(P)**

トークンの所有者だけが知っている暗証番号（数字や文字）を設定します。

- **確認入力(I)**

パスワードと同じ内容を確認のために入力します。

- **Windows ログオン情報**

Windows ログオン情報の設定を行います。

- **アカウント(A)**: Solo ユーザーと対応する Windows アカウント名を入力します。[**アカウントを選択(S)...**]ボタンをクリックすると、ローカル PC に設定されているすべての Windows アカウント名の中から選択できます。
- **パスワード(W)**: Windows アカウント名に対応するログオンパスワードを入力します。
- **確認入力(M)**: ログオンパスワードと同じ値を入力します。
- **ログオン先(D)**: PC が所属しているドメイン名と PC 名が表示されます。Windows アカウントのログオン先を選択します。



注意: [アカウントの選択(S)...]ボタンで選択できる Windows アカウントは、ローカル PC に登録されている Windows アカウントのみです。ドメインに登録されている Windows アカウントを設定する場合は、手入力し、ログオン先にドメイン名を設定してください。

- オプション

Solo マネージャーの起動許可および Solo 拡張機能の使用許可の設定を行います。

- **マネージャーを起動できる(N)**: このチェックボックスを有効にすると、SmartOn Solo の設定変更を行う Solo マネージャーを起動できます。
- **Solo 拡張機能を使用できる(E)**: このチェックボックスを有効にすると、Solo 拡張機能を利用できます。Solo 拡張機能とは、Solo Encrypt をインストールすることにより使用できる Solo 暗号化機能のことです。Solo 暗号化機能は、ファイル暗号化機能、およびファイル持ち出し制御/警報機能から構成されます (Solo Encrypt は別売りとなっています)。



注意: 【マネージャーを起動できる(N)】および【Solo 拡張機能を使用できる(E)】の設定変更は、次回ログオン時から反映されます。

Solo マネージャーを起動できる Solo ユーザーは必ず一人は存在しなくてはなりません。インストール時は、一人目のユーザー登録になりますので、【マネージャーを起動できる(N)】チェックボックスが有効な状態での表示項目となります。

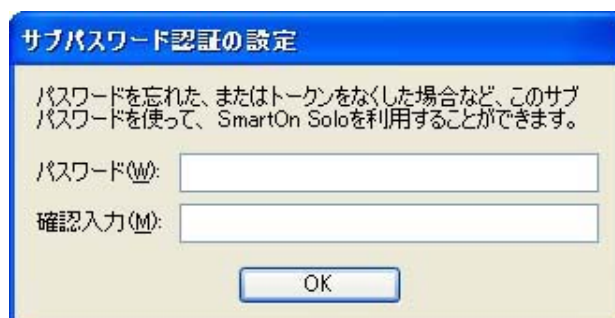
表 3.4.1 入力値の制限

項目	文字数制限	その他の制限事項
ユーザー名	1~30 文字 半角・全角に関わらず、 最大 30 文字	使用禁止文字: ¥ / [] : < > + = ; , ? * " 同じユーザー名は重複して登録できません。 ユーザー名の末尾を . (ピリオド) にすることはできません。 先頭または末尾にスペース文字を入力した場合、スペース文字は無視されます。
パスワード	0~30 文字 (半角英数)	入力しない時 (文字数 0 の時)、確認メッセージが表示されます。 [OK] のとき、0 文字で保存されます。
Windows ログオンアカウント	1~95 文字 半角・全角に関わらず、 最大 95 文字 ・UPN 表記: アカウント名@ドメイン名 例: useraccount@domain.local	使用禁止文字: ¥ / [] : < > + = ; , ? * " @がない場合は、ローカル PC のアカウントになります。 先頭または末尾にスペース文字を入力した場合、スペース文字は無視されます。
Windows ログオンパスワード	0~30 文字 (半角英数)	入力しない時 (文字数 0 の時)、確認メッセージが表示されます。 [OK] のとき、0 文字で保存されます。



注意: ユーザー名には半角・全角に関わらず最大で 30 文字の文字列を設定できますが、ログファイルのユーザー名に記録できる文字数は最大で半角 30 文字、全角 15 文字です。Solo マネージャーで全角 16 文字以上のユーザー名を設定しても、ログファイルのユーザー名には全角 15 文字までしか記録されません。

10. 図 3.4.10 の画面で Solo ユーザー情報を入力して[OK]ボタンをクリックすると、図 3.4.11 の「サブパスワード認証の設定」画面が表示されます。



サブパスワード認証の設定

パスワードを忘れた、またはトークンをなくした場合など、このサブパスワードを使って、SmartOn Soloを利用することができます。

パスワード(W):

確認入力(M):

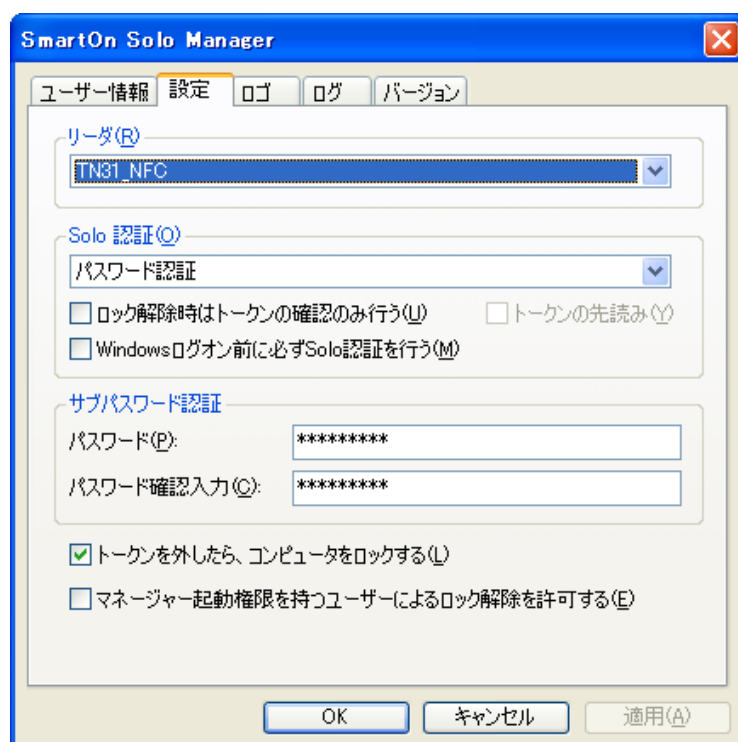
OK

図 3.4.11 サブパスワード認証の設定

11. サブパスワード認証用パスワードを設定します。パスワードを入力して[OK]ボタンをクリックすると、図 3.4.12 の「Solo マネージャー[設定]タブ」画面が表示されます。



注意： サブパスワード認証用パスワードの文字数は、1～30 文字（半角英数）です。このパスワードは Solo マネージャーを起動する場合（サブパスワード認証用パスワードにより起動）や、Solo 認証をキャンセルする場合（トークン紛失時のログオン、PC ロック解除時）に必要となるものです。なお、ここで設定したサブパスワード認証用のパスワードは、登録されたすべての Solo ユーザーに対して共通です。重要ですので、忘れないようにしてください。



SmartOn Solo Manager

ユーザー情報 設定 ログ ログ バージョン

リーダ(R)
TN31_NFC

Solo 認証(O)
パスワード認証

☐ ロック解除時はトークンの確認のみ行う(U) ☐ トークンの先読み(Y)
☐ Windowsログオン前に必ずSolo認証を行う(M)

サブパスワード認証
パスワード(P): *****
パスワード確認入力(C): *****

☒ トークンを外したら、コンピュータをロックする(L)
☐ マネージャー起動権限を持つユーザーによるロック解除を許可する(E)

OK キャンセル 適用(A)

図 3.4.12 Solo マネージャー[設定]タブ

12. Solo マネージャーの[設定]タブでは、リーダや Solo 認証の設定を行います。各項目の設定内容は以下の通りです。

- リーダ(R)

使用する認証デバイスが表示されます。

- Solo 認証(O)

Windows ログオン処理の前に行われる Solo 認証の動作モードの設定を行います。

- **認証方式:**

- パスワード認証: Solo 認証時にトークンとパスワード入力が必要です。
- トークンの確認: Solo 認証時にトークンの有無の確認のみを行います。パスワード入力は不要です。

- **ロック解除時はトークンの確認のみ行う(U):** このチェックボックスを有効にすると、PC ロック解除時にパスワード入力が必要になります。Solo 認証がパスワード認証の場合のみ有効な機能です。

- **トークンの先読み(Y):** このチェックボックスを有効にすると、Solo 認証のパスワード認証画面でトークンをセットすると同時に ID を取得します。[トークンを外したら、コンピュータをロックする(L)]チェックボックスが無効の場合のみ有効な機能ですが、ID を取得した後は、パスワード入力を行う前でも、トークンをセットしておく必要がなくなります。

- **Windows ログオン前に必ず Solo 認証を行う(M):** このチェックボックスを有効にすると、Windows ログオンを行う前に必ず Solo 認証を行います。Solo 認証をキャンセルする場合(トークン紛失時など)には、サブパスワード認証用パスワード、または緊急パスワード認証を入力して Solo 認証をキャンセルする必要があります。



注意: [Windows ログオン前に必ず Solo 認証を行う(M)]チェックボックスを有効にすると、トークン紛失およびパスワードを忘れた場合は、Solo 認証に失敗するため Windows ログオンができません。本設定を有効にした場合、サブパスワード認証用のパスワードを絶対に忘れないようにしてください。

- サブパスワード認証

サブパスワード認証用のパスワードを変更できます。

サブパスワード認証用パスワードは、Solo マネージャーを起動する場合(サブパスワード認証用パスワードにより起動)や Solo 認証をキャンセルする場合(トークン紛失時のログオン、PC ロック解除時)に必要となるものです。なお、ここで設定したサブパスワード認証用のパスワードは、登録されたすべての Solo ユーザーに対して共通です。



注意: サブパスワード認証用のパスワードはアスタリスク(*)で表示されます。このパスワードは重要ですので、忘れないようにしてください。

- **トークンを外したら、コンピュータをロックする(L)**

このチェックボックスを有効にすると、トークンを外した場合に PC がロック状態になります。

- **マネージャー起動権限を持つユーザーによるロック解除を許可する(E)**

このチェックボックスを有効にすると、PC ロック時に使用していたトークンと異なるトークンでもロック解除することができます。マネージャー起動権限を持つユーザーのトークンを使用してください。なお、この場合には、以下の情報がロック解除したユーザーの情報に変わります。

- ・ ログのユーザー名
- ・ マネージャーのログオン情報のユーザー名
- ・ [Windows のセキュリティ]ダイアログのログオン情報のユーザー名
- ・ PC ロック画面のユーザー名

13. 図 3.4.12 の画面で SmartOn Solo の設定を確認・変更して**[OK]**ボタンをクリックすると、図 3.4.13 の「InstallShield Wizard の完了(再起動)」画面が表示されます。



図 3.4.13 InstallShield Wizard の完了(再起動)

14. **[はい、今すぐコンピュータを再起動します。]**を選択して**[完了]**ボタンをクリックすると、PC が再起動します。
15. 再起動後、SmartOn Solo が有効になります。Solo クライアントにログインするためには、SmartOn Solo インストール時に登録したトークンが必要になります。

3.4.2 上書きインストール

SmartOn Solo を上書きインストールするには、ローカル PC の管理者権限が必要です。SmartOn Solo が起動している状態でも上書きインストールを行うことができます。ローカル PC の管理者権限をもつ Windows アカウントでログオンし、上書きインストールを行ってください。

上書きインストールの手順は以下の通りです。

1. SmartOn Solo のインストールパッケージ付属の製品 CD-ROM を CD ドライブにセットすると、セットアッププログラムが自動的に起動され、図 3.4.14 の「SmartOn セットアップメニュー」画面が表示されます。



注意： 図 3.4.14 の「SmartOn セットアップメニュー」画面が自動的に表示されない場合は、製品 CD-ROM 内の「SSOlaunch.exe」をダブルクリックしてください。

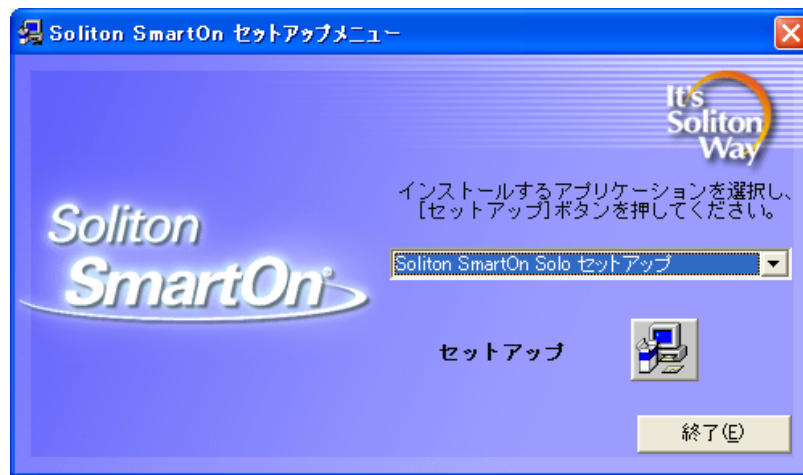


図 3.4.14 SmartOn セットアップメニュー



注意： セットアップを開始する前に、必ず README をご一読ください。README を表示するには、図 3.4.14 のプルダウンメニューから「はじめにお読みください(README)」を選択し、[セットアップ] ボタンをクリックしてください。

2. **[Soliton SmartOn Solo セットアップ]**を選択して**[セットアップ]**ボタンをクリックすると、図 3.4.15 の「SmartOn Solo を上書きインストールします」画面が表示されます。



図 3.4.15 SmartOn Solo を上書きインストールします

3. [次へ(N)>]ボタンをクリックすると、図 3.4.16 の「追加機能の選択」画面が表示されます。

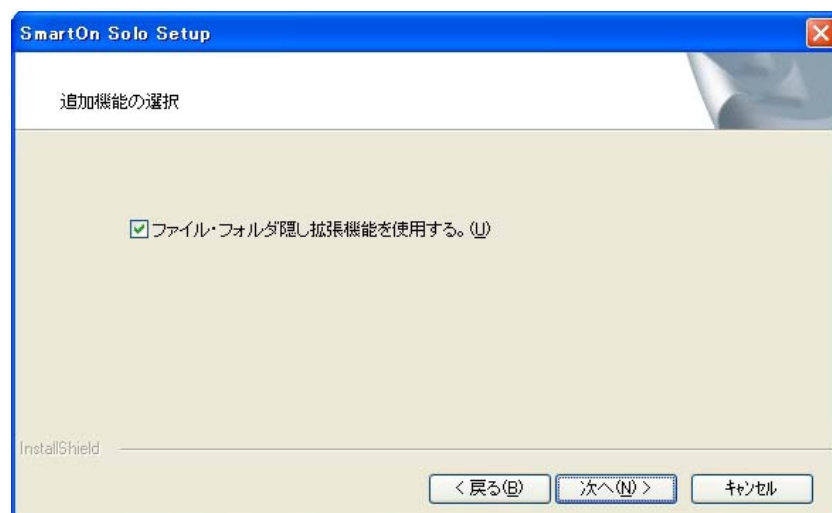


図 3.4.16 追加機能の選択

4. [ファイル・フォルダ隠し拡張機能を使用する。(U)]チェックボックスを有効にすると、ログ機能を使用する場合にログフォルダおよびログファイルを保存するフォルダを隠すことができます。[次へ(N)>]ボタンをクリックすると、図 3.4.17 の「ライセンスキーを入力してください」画面が表示されます。[ライセンスキー]には、登録済みのライセンスキーが表示されます。

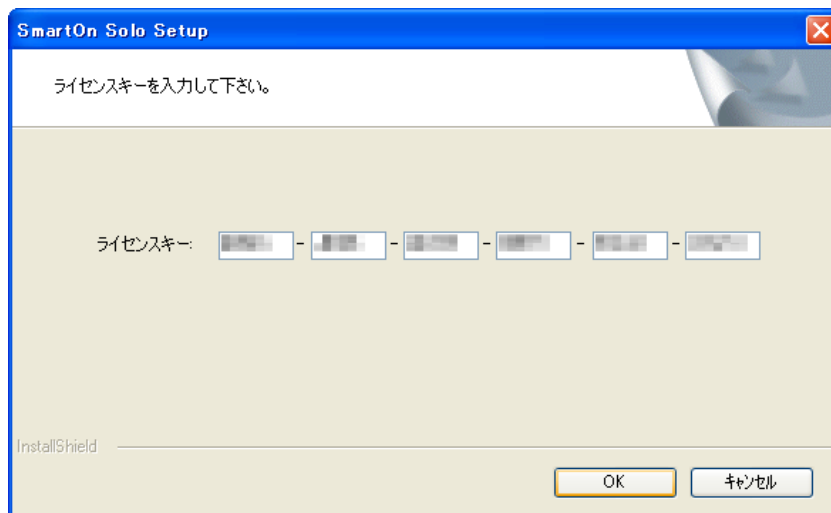


図 3.4.17 ライセンスキーを入力してください

5. **[OK]**ボタンをクリックすると上書きインストールが開始され、インストールが完了すると、図 3.4.18 の「InstallShield Wizard の完了(再起動)」画面が表示されます。**[キャンセル]**ボタンをクリックすると、上書きインストール処理は行われません。

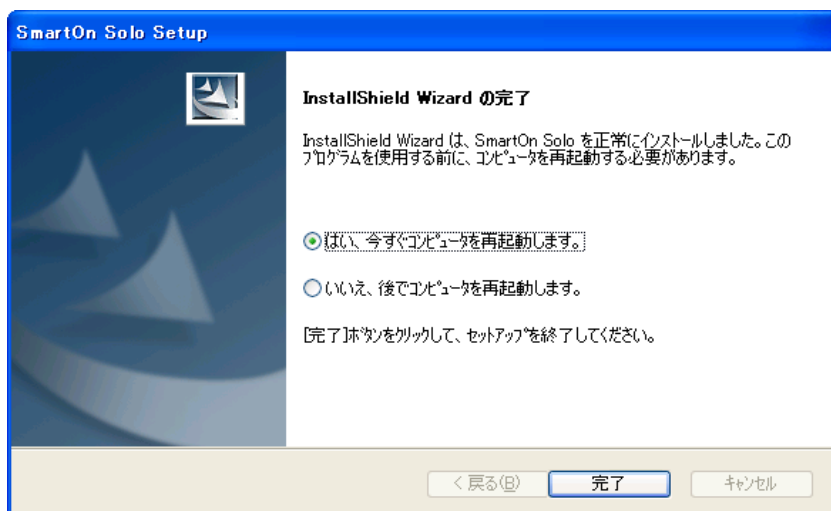


図 3.4.18 InstallShield Wizard の完了(再起動)

6. **[はい、今すぐコンピュータを再起動します。]**を選択して**[完了]**ボタンをクリックすると、PC が再起動します。
7. PC が再起動すると、上書きインストールは終了です。
8. SmartOn Solo の設定は、上書きインストールによって変更されません。Solo マネージャーを起動して**[バージョン]**タブを開き、図 3.4.19 の「Solo マネージャー[バージョン]タブ」画面のようにバージョンが「1.2.2.1」になっていることを確認してください。



図 3.4.19 Solo マネージャー[バージョン]タブ

3.5 アンインストール

SmartOn Solo を PC 上からアンインストールするには、ローカル PC の管理者権限が必要です。また、SmartOn Solo が起動している状態ではアンインストールすることができないため、Solo 認証をキャンセルして Windows にログオンする必要があります。



注意： SmartOn Solo と認証デバイス用デバイスドライバの両方をアンインストールする場合は、次の順番で行ってください。

1. SmartOn Solo のアンインストール
2. 認証デバイス用ドライバのアンインストール

SmartOn Solo をアンインストールする前にデバイスドライバをアンインストールすると、SmartOn Solo がトークンを認識しないため、Solo 認証ができなくなります。

SmartOn Solo のアンインストール手順は以下の通りです。

1. Windows にログオンしている場合はログオフします。
2. Solo 認証をキャンセルします。
3. Windows のログオン画面で、ローカル PC の管理者権限を持つ Windows アカウントでログオンします。
4. **【スタート】メニューから【コントロールパネル(C)】-【プログラムの追加と削除】**を選択すると、図 3.5.1 の「プログラムの追加と削除」画面が表示されます。

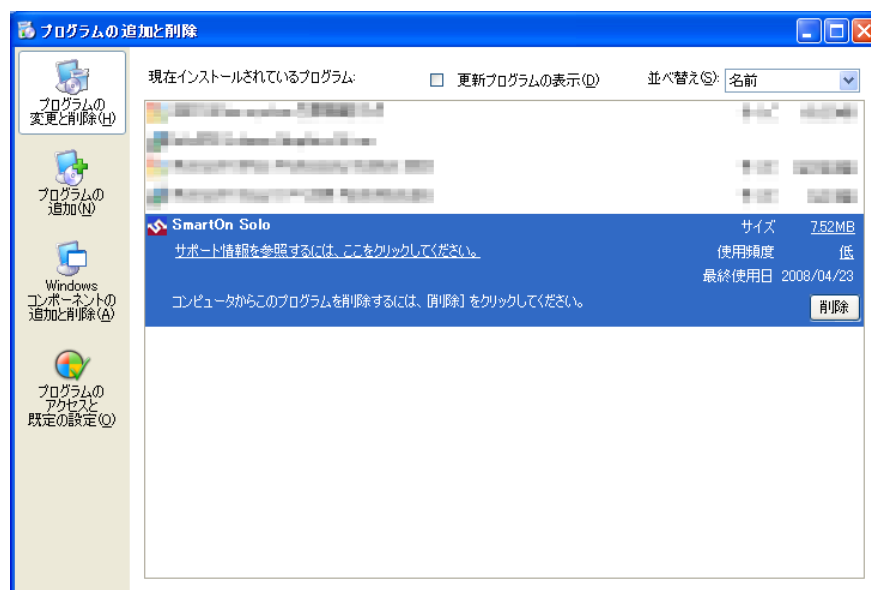


図 3.5.1 プログラムの追加と削除

5. インストールされているプログラムの一覧から**【SmartOn Solo】**を選択して**【削除】**ボタンをクリックすると、図 3.5.2 の「SmartOn Solo のアンインストール」画面が表示されます。



図 3.5.2 SmartOn Solo のアンインストール

6. **【はい(Y)】**ボタンをクリックすると、アンインストールが開始され、図 3.5.3 の「アンインストール処理終了」画面が表示されます。

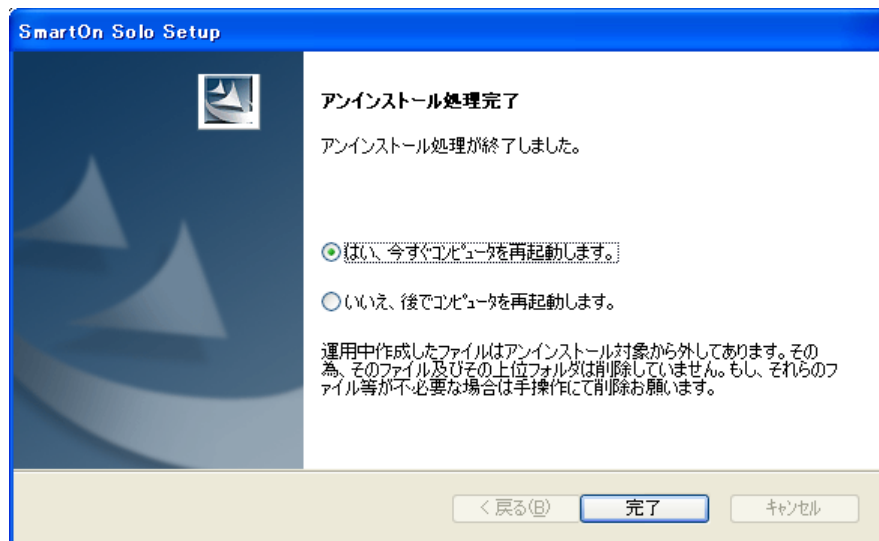


図 3.5.3 アンインストール処理終了

7. **【はい、今すぐコンピュータを再起動します。】**を選択して**【完了】**ボタンをクリックすると、PC が再起動します。
8. PC が再起動すると、SmartOn Solo のアンインストールは終了です。

4. Soloマネージャーによる設定

この章では、Solo マネージャーによる新規 Solo ユーザーの登録および SmartOn Solo の動作設定について説明します。

4.1 Soloマネージャーの起動

4.1.1 SmartOn Solo起動時のSoloマネージャーの起動

SmartOn Solo を起動した状態 (SmartOn Solo 起動時) でログオンした場合、Solo マネージャーを起動できるのは、Solo マネージャーを起動する権限がある Solo ユーザーだけです。



注意： Solo ユーザーに対して Solo マネージャーの起動権限を与える方法は、「4.2.1 ユーザー情報」を参照してください。Windows ログオン時の SmartOn Solo の起動・未起動については、「5.2 ログオン処理 (Solo 認証が必須でない場合)」、または「5.3 ログオン処理 (Solo 認証が必須の場合)」を参照してください。

Solo マネージャーの起動方法は、以下の通りです。

- **[スタート]メニューからの起動** (SmartOn Solo のインストールで[プログラムフォルダの選択]をデフォルト設定した場合)
[スタート]-[すべてのプログラム(P)]-[SmartOn Solo]-[SmartOn Solo Manager]を選択します。



図 4.1.1 Solo マネージャーの起動([スタート]メニュー)

- **Solo アイコンからの起動**
Solo アイコンを右クリックすると図 4.1.2 の「Solo マネージャーの起動 (Solo アイコン)」画面が表示されますので、**[プロパティ(P)]**を選択します。

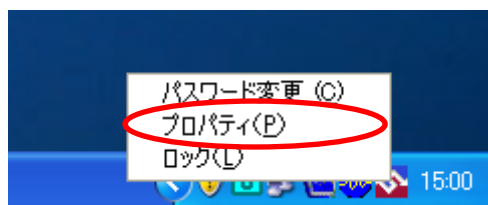


図 4.1.2 Solo マネージャーの起動 (Solo アイコン)

Solo マネージャーを起動すると、図 4.1.3 の「Solo マネージャー[ユーザー情報]タブ」画面が表示されます。



図 4.1.3 Solo マネージャー[ユーザー情報]タブ

4.1.2 SmartOn Solo未起動時のSoloマネージャーの起動

SmartOn Solo が起動していない状態 (SmartOn Solo 未起動時) でログオンした場合、Solo マネージャーを起動するために、パスワード認証を行う必要があります。



注意: Windows ログオン時の SmartOn Solo の起動・未起動については、「5.2 ログオン処理 (Solo 認証が必須でない場合)」、または「5.3 ログオン処理 (Solo 認証が必須の場合)」を参照してください。

Solo マネージャーの起動方法は、以下の通りです。

- **[スタート]メニューからの起動** (SmartOn Solo のインストールで[プログラムフォルダの選択]をデフォルト設定した場合)
[スタート]-[すべてのプログラム(P)]-[SmartOn Solo]-[SmartOn Solo Manager]を選択します。



図 4.1.4 Solo マネージャーの起動([スタート]メニュー)

Solo マネージャーを起動すると、図 4.1.5 の「パスワード、またはサブパスワード認証用パスワードによる Solo マネージャーの起動」画面が表示されます。



図 4.1.5 パスワード、またはサブパスワード認証用パスワードによる Solo マネージャーの起動

- Solo 認証でログオンし、Solo マネージャー設定画面を表示する方法は、以下の通りです。
※Solo マネージャーを起動する権限がある Solo ユーザーだけが、Solo マネージャーを起動できます。
 - 認証方式が**【パスワード認証】**の場合 : トークンをセットしてパスワードを入力後、**【OK】**ボタンをクリックします。
 - 認証方式が**【トークンの確認】**の場合 : トークンをセットして**【OK】**ボタンをクリックします。
- サブパスワード認証用パスワードで Solo 認証をキャンセルしてログオンし、Solo マネージャー設定画面を表示する方法は、以下の通りです。
※Solo マネージャーを起動する権限がない Solo ユーザーでも、Solo マネージャーを起動できます。
 - **【サブパスワードで起動(E)】**ボタンをクリックします。サブパスワード認証用パスワードを入力する画面が表示されますので、サブパスワード認証用パスワードを入力し**【OK】**ボタンをクリックします。

認証に成功すると、図 4.1.3 の「Solo マネージャー[ユーザー情報]タブ」画面が表示されます。



注意: パスワード認証・トークンの確認については、「5.2.2 Solo 認証画面」、または「5.3.2 Solo 認証画面」を参照してください。サブパスワード認証用パスワードについては、「5.3.3 サブパスワード認証および緊急パスワード認証」の「サブパスワード認証」の項を参照してください。パスワード認証・トークンの確認・サブパスワード認証用パスワード認証の設定方法については、「3.4.1 新規インストール」を参照してください。

4.2 設定

4.2.1 ユーザー情報

[ユーザー情報]タブでは、新規 Solo ユーザーの登録、登録されている Solo ユーザーの変更、および表示を行います。

Soloユーザーの追加

図 4.1.3 の[追加(N)...]ボタンをクリックすると、図 4.2.2 の「新しいユーザーの登録」画面が表示されます。なお、[トークンを外したら、コンピュータをロックする(L)]チェックボックスが有効になっている場合、「新しいユーザーの登録」画面の前に、図 4.2.1 の「[トークンを外したら、コンピュータをロックする]を一時停止する」画面が表示されます。

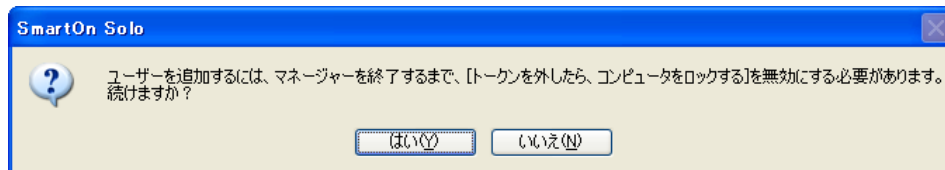


図 4.2.1 「[トークンを外したら、コンピュータをロックする]を一時停止する

[はい(Y)]ボタンをクリックすると、[トークンを外したら、コンピュータをロックする]を一時停止します。なお、Solo マネージャー終了時にトークンの存在確認を再開します。

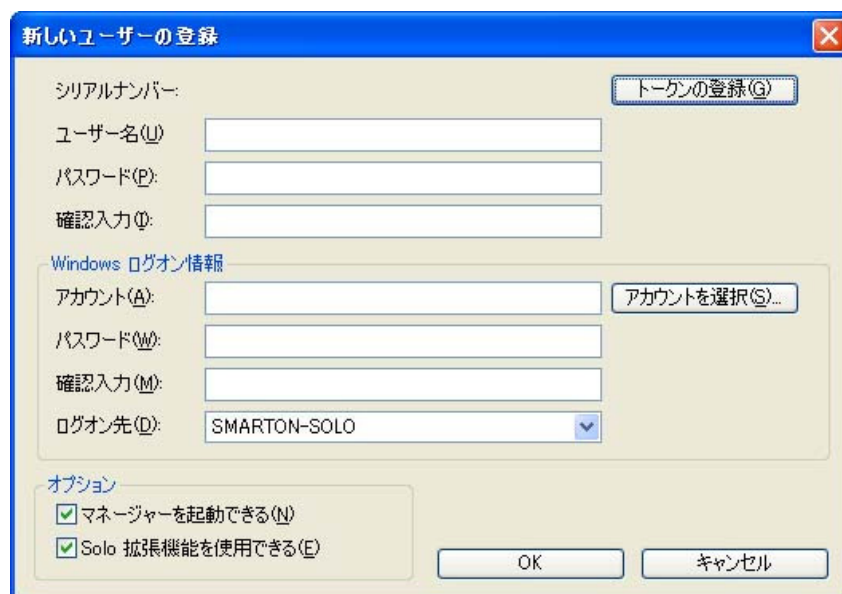


図 4.2.2 新しいユーザーの登録

Solo ユーザーの新規登録方法は以下の通りです。

各項目の設定内容については、「3.4.1 新規インストール」の手順 9 の説明を参照してください。

1. 新規に登録する Solo ユーザーが使用するトークンをセットします。[**トークンの登録(G)**] ボタンをクリックすると、トークンのシリアルナンバーが表示されます。
2. 必要な項目を設定します。Solo ユーザーとして登録する Windows アカウントがローカル PC に登録されている Windows アカウントであれば、[**アカウントを選択(S)...**] ボタンをクリックすると、図 4.2.3 の「アカウント選択」画面が表示され、一覧の中からアカウントを選択することができます。

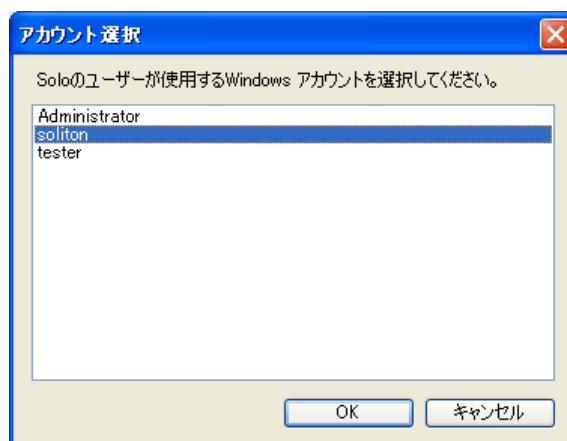


図 4.2.3 アカウント選択

3. Solo ユーザーに Solo マネージャーの起動を許可しない場合は、[**マネージャーを起動できる(N)**] チェックボックスを無効にします。Solo ユーザーに Solo 拡張機能の使用を許可しない場合は、[**Solo 拡張機能を使用できる(E)**] チェックボックスを無効にします。
4. 設定が終了したら、[**OK**] ボタンをクリックします。これで、Solo ユーザーの新規登録は終了です。



注意： Solo ユーザーは、20 人まで登録可能です。すでに 20 人登録されている場合は、[**追加(N)...**] ボタンは非表示となります。

Soloユーザーの削除

図 4.1.3 で削除する Solo ユーザーを選択し[削除(D)]ボタンをクリックします。なお、以下の場合は、選択した Solo ユーザーを削除することができません。

- 現在 SmartOn Solo にログオンしている Solo ユーザーを選択した場合
- 登録されている Solo ユーザーが 1 人の場合
- 削除後、Solo ユーザーの中に Solo マネージャーを起動できる Solo ユーザーが存在しない場合

Soloユーザー情報の参照・変更

登録されている Solo ユーザーの設定内容を変更する場合は、図 4.1.3 の[ユーザー一覧(R)]で Solo ユーザーを選択して[プロパティ(P)...]ボタンをクリックする、または Solo ユーザーをダブルクリックします。図 4.2.4 の「ユーザーのプロパティ」画面が表示されます。

ユーザーのプロパティ

シリアルナンバー: [] トークンの変更(G)

ユーザー名(U): テストユーザー

パスワード(P): []

確認入力(Q): []

Windows ログイン情報

アカウント(A): soliton アカウントを選択(S)...

パスワード(W): []

確認入力(M): []

ログイン先(D): SMARTON-SOLO

オプション

☒ マネージャーを起動できる(N)

☒ Solo 拡張機能を使用できる(E)

OK キャンセル

図 4.2.4 ユーザーのプロパティ

各項目の設定内容については、「3.4.1 新規インストール」の手順 9 の説明を参照してください。

設定変更後、[OK]ボタンをクリックすると、設定項目を更新して図 4.1.3 に戻ります。[キャンセル]ボタンをクリックすると、更新をしないで、図 4.1.3 に戻ります。



注意: Solo ユーザーの追加・削除・変更は、Solo マネージャーを起動できる Solo ユーザーが最低 1 人存在しないと無効になります。行った設定を保存・終了することはできません。

4.2.2 設定

[設定]タブでは、SmartOn Solo の動作モードの設定を行います。ここで設定した内容は、すべての Solo ユーザーに対して共通です。Solo マネージャーを起動し、[設定]タブを選択すると、図 4.2.5 の「Solo マネージャー[設定]タブ」画面が表示されます。

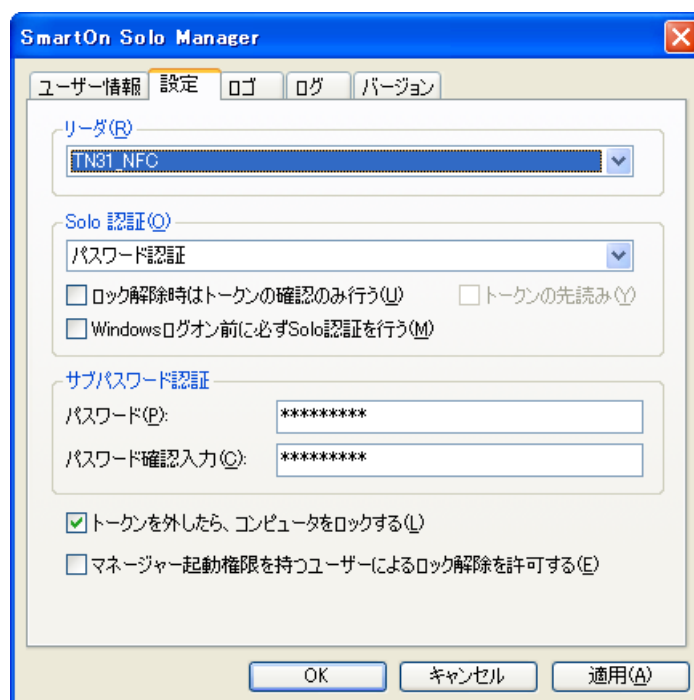


図 4.2.5 Solo マネージャー[設定]タブ

ここで表示される内容は、インストール時に表示される画面の内容と同じです。

各項目の設定内容については、「3.4.1 新規インストール」の手順 12 の説明を参照してください。

4.2.3 ロゴ

[ロゴ]タブでは、SmartOn Solo の認証画面、または PC ロック画面の画像を変更することができます。Solo マネージャーを起動し、[ロゴ]タブを選択すると、図 4.2.6 の「Solo マネージャー[ロゴ]タブ」画面が表示されます。



図 4.2.6 Solo マネージャー[ロゴ]タブ

- **[ロゴを選択してください(P)]**一覧でファイル名を選択すると、画像がプレビューされます。
- 推奨サイズの画像ファイルを作成することによりオリジナルの画面を表示することができます。オリジナルの画像を設定する場合は、**[参照(B)...]**ボタンをクリックし、ファイルを指定します。
- ファイルを選択して、**[適用(A)]**ボタンをクリックすると、ロゴが変更されます。



注意： ここで設定するロゴには、ビットマップ形式のファイルを指定することができます。他形式のファイルを使用する場合は、他形式のファイルをビットマップ形式に変換してからご使用ください。なお、推奨サイズより大きいビットマップファイルを指定した場合は、縮小して表示されます。

4.2.4 ログ

[ログ]タブでは、SmartOn Solo のログ機能の設定を行います。Solo マネージャーを起動し、[ログ]タブを選択すると、図 4.2.7 の「Solo マネージャー[ログ]タブ」画面が表示されます。ログの出力内容の詳細については、「付録 B. ログ出力内容一覧」を参照してください。



図 4.2.7 Solo マネージャー[ログ]タブ

● ログを記録する(E)

このチェックボックスを有効にすると、ログ出力機能が有効になります。チェックボックスを有効にし、Solo マネージャーの設定を保存した後、PC を再起動するとログをファイルに出力します。



注意： ログファイルを Excel などを開いていると、SmartOn Solo はログをファイルに出力できません。

- 出力フォルダ

出力したログファイルを保存するフォルダのフルパスを入力します。

- **【参照(B)...】**ボタンをクリックすると、フォルダの選択ダイアログが表示され、出力フォルダを選択できます。
- **【開く(O)...】**ボタンをクリックすると、**【出力フォルダ】**欄に入力されたフォルダが開きます。フォルダが存在しない場合は、新しくフォルダを作成した後にフォルダを開きます。

ログフォルダとして指定できるフォルダはローカルハードディスク上のフォルダのみです。その他のフォルダをログフォルダとして指定した場合は、図 4.2.8 の「エラーメッセージ(出力フォルダ)」画面が表示されます。

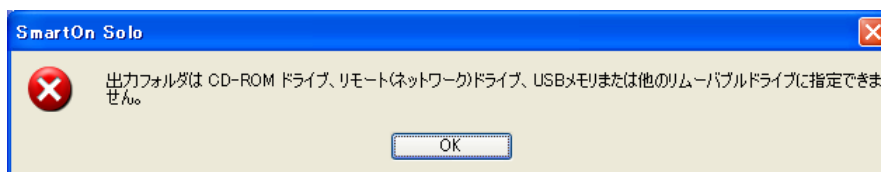


図 4.2.8 エラーメッセージ(出力フォルダ)



注意： 出力フォルダ欄で指定するログフォルダの文字数は、最大で半角 200 文字です。半角英数字および全角文字を使用できます。ただし、* .. . ? | < > " を使用することはできません。

- ログファイルの保持日

出力したログファイルを保存する日数を指定します。0～100 日の間で指定できます。ログファイルが出力された日から設定した保持日数が経過すると、ログファイルが自動的に削除されます。保持日を 0 日に設定すると、ログファイルは削除されません。

- ログのファイル形式

ログファイルは日付毎に別のファイル名で出力されます。ファイル名は「SSO + 年 + 月 + 日 + .LOG」の形式で出力されます(例: SSO20060720.LOG)。ファイルサイズはログ 10 件で 1KB ほどのサイズになります。

4.2.5 バージョン

[バージョン]タブでは、現在インストールされている SmartOn Solo のバージョン情報および各モジュールのバージョン、更新日時などを表示します。また、ライセンスコードの表示とライセンス登録を行います。Solo マネージャーを起動し、[バージョン]タブを選択すると、図 4.2.9 の「Solo マネージャー[バージョン]タブ」画面が表示されます。



図 4.2.9 Solo マネージャー[バージョン]タブ

- ライセンスコード

インストール時に登録したライセンスキーに対応するライセンスコードは、ライセンスコード欄に表示されます。

- ライセンスの登録(L)...

図 4.2.9 の[ライセンス登録(L)...]ボタンをクリックすると、図 4.2.10 の「ライセンスの登録」画面が表示されます。

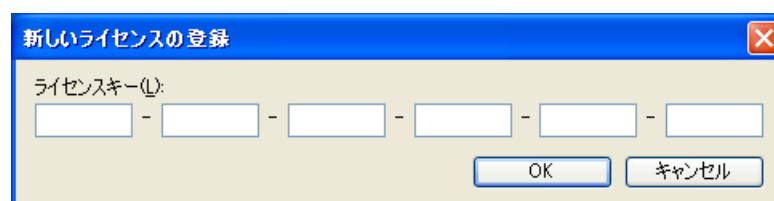


図 4.2.10 ライセンスの登録

ライセンスキーを入力して[OK]ボタンをクリックすると、図 4.2.9 に戻ります。

- SmartOn Solo で使用しているファイルの一覧

ファイル名、バージョン、更新日時、インストール場所が一覧表示されます。

4.3 Soloマネージャーの終了

Solo マネージャーを終了する方法は以下の通りです。



図 4.3.1 Solo マネージャー[ユーザー情報]タブ

- **[適用(A)]**ボタン: このボタンをクリックすると、設定した内容を登録します。
- **[OK]**ボタン: このボタンをクリックすると、設定した内容を登録して、画面を閉じます。
- **[キャンセル]**ボタン: このボタンをクリックすると、「終了する前に変更を保存しなくてもよろしいですか?」というメッセージ画面が表示されます。
 - **[はい(Y)]**ボタンをクリックすると、設定した内容を登録しないで、画面を閉じます。
 - **[いいえ(N)]**ボタンをクリックすると、図 4.3.1 に戻ります。

以下の場合も、**[キャンセル]**ボタンと同じ動作をします。

- **[Esc]**キーを押下した場合
- **[Alt+F4]**キーを押下した場合

5. Soloクライアントの動作

この章では、Solo クライアントの起動および認証時の動作について説明します。

5.1 認証サービスの初期化作業

PC を起動すると、Windows が起動した後、図 5.1.1 の「サービス起動待ちダイアログ」画面が表示されます。

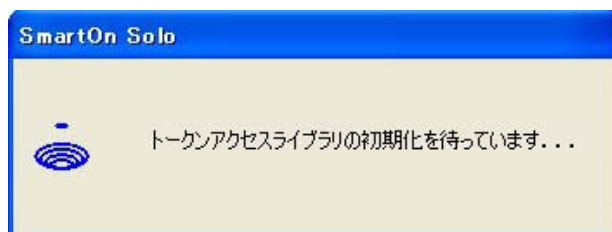


図 5.1.1 サービス起動待ちダイアログ

SmartOn Solo による認証サービスの初期化作業が行われている間は、図 5.1.1 が表示されています。図 5.1.1 の表示が終わると、図 5.2.2 の「Solo ログオン画面」が表示されます。

5.2 ログオン処理(Solo認証が必須でない場合)

Solo 認証が必須ではない場合のログオン処理の流れは、以下の通りです。

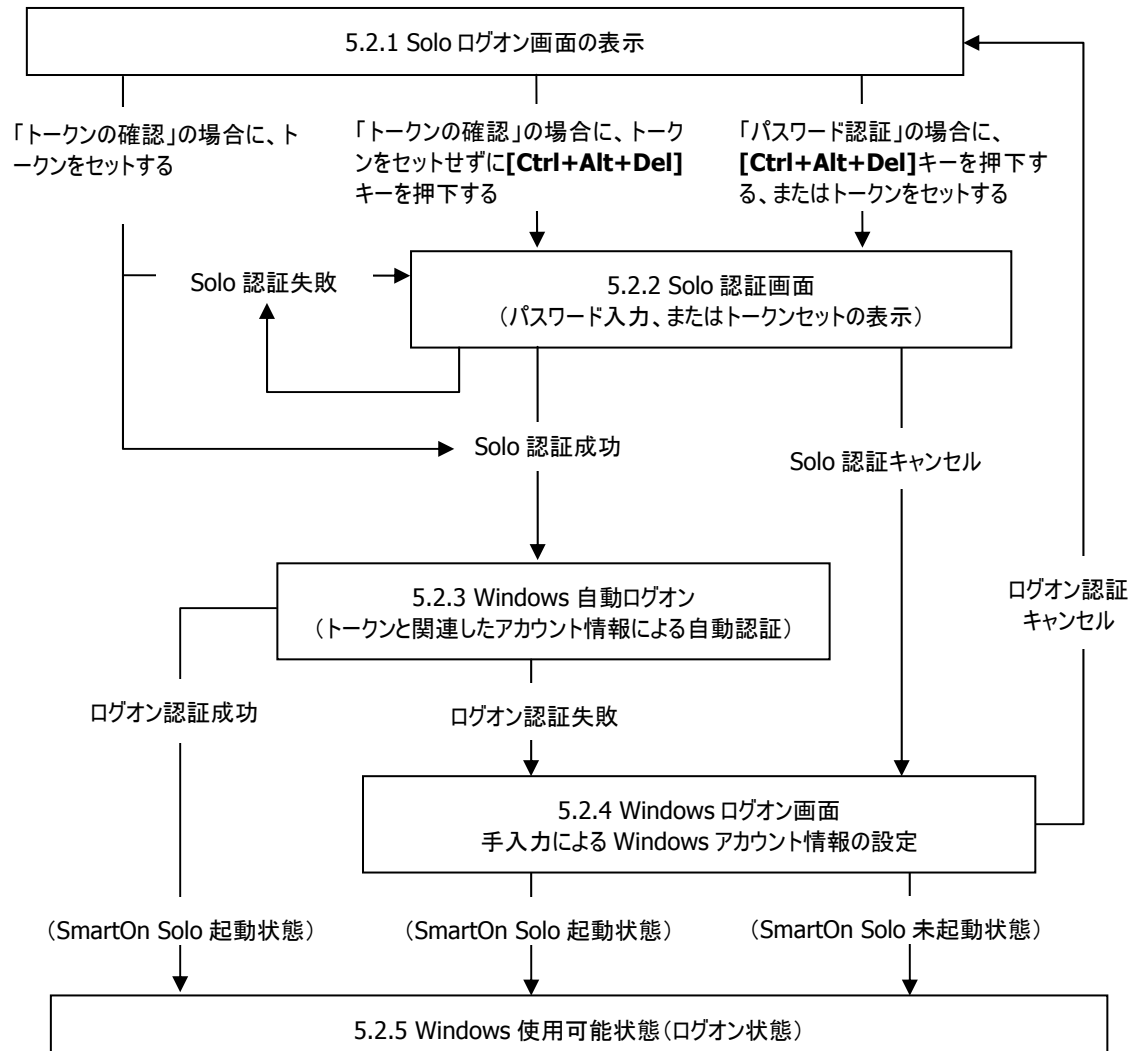


図 5.2.1 Solo 認証が必須ではない場合のログオン処理の流れ

5.2.1 Soloログオン画面の表示

SmartOn Solo が起動すると、図 5.2.2 の「Solo ログオン画面」が表示されます。



図 5.2.2 Solo ログオン画面

パスワード認証

トークンをセットする、または[Ctrl+Alt+Del]キーを押下すると、「5.2.2 Solo 認証画面」(図 5.2.3、または図 5.2.4)に進みます。

トークンの確認

トークンをセットすると、「5.2.3 Windows 自動ログオン」に進みます。トークンをセットせずに[Ctrl+Alt+Del]キーを押下すると、「5.2.2 Solo 認証画面」(図 5.2.5)に進みます。

5.2.2 Solo認証画面

Solo 認証の認証方式には[パスワード認証]と[トークンの確認]があります。

パスワード認証

- [トークンの先読み(Y)]チェックボックスが無効の場合



図 5.2.3 Solo 認証画面(パスワード認証)

- トークンをセットし、パスワードを入力して[OK]ボタンをクリックすると、「5.2.3 Windows 自動ログオン」に進みます。[キャンセル]ボタンをクリックすると Solo 認証がキャンセルされ、「5.2.4 Windows ログオン画面」に進みます。

- 【トークンの先読み(Y)]チェックボックスが有効の場合



図 5.2.4 Solo 認証画面(トークンの先読み機能付きパスワード認証)

- トークンの先読み(ID の取得)に失敗している間は、アイコンが赤色で表示されます。トークンをセットするとアイコンが緑色に変わり、パスワードの入力前にトークンを外すことが可能になります。パスワードを入力して【OK】ボタンをクリックすると、「5.2.3 Windows 自動ログオン」に進みます。【キャンセル】ボタンをクリックすると Solo 認証がキャンセルされ、「5.2.4 Windows ログオン画面」に進みます。

トークンの確認

トークンをセットし、【OK】ボタンをクリックすると、「5.2.3 Windows 自動ログオン」に進みます。【キャンセル】ボタンをクリックすると Solo 認証がキャンセルされ、「5.2.4 Windows ログオン画面」に進みます。



図 5.2.5 Solo 認証画面(トークンの確認)

5.2.3 Windows自動ログオン

Solo 認証に成功すると、トークンに関連した Windows アカウント名とパスワードを使用して、自動的に Windows にログオンします。

Windows アカウント名とパスワードが正しい場合は、「5.2.5 Windows 使用可能状態」に進みます。Windows アカウント名とパスワードが不正な場合は、「5.2.4 Windows ログオン画面」に進みます。

5.2.4 Windowsログオン画面

Solo 認証に成功したがトークンと関連した Windows アカウント名とパスワードが不正である場合、または Solo 認証をキャンセルした場合は、図 5.2.6 の「Windows ログオン画面」が表示されます。



図 5.2.6 Windows ログオン画面

正しい Windows アカウント名（ユーザー名）とパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

Windows アカウント名とパスワードが正しい場合は、「5.2.5 Windows 使用可能状態」に進みます。Windows アカウント名とパスワードが不正な場合は、ログオンできません。



注意： Solo 認証に成功した後に Windows 認証に失敗し、そのまま手入力にて Windows にログオンした場合、入力した Windows アカウント情報が Solo マネージャーに登録されます。Solo 認証をキャンセルして Windows にログオンした場合は、Windows アカウント情報は更新されません。

5.2.5 Windows使用可能状態

Solo 認証に成功した場合は、SmartOn Solo 起動状態で Windows にログオンします。Solo 認証をキャンセルした場合は、SmartOn Solo 未起動状態で Windows にログオンします。



注意： SmartOn Solo 未起動状態で Windows にログオンした場合は、以下の機能が使用できなくなります。

- ・SmartOn Solo の PC ロック機能
- ・Solo アイコンの表示
- ・Solo マネージャーの起動

※Solo マネージャーを起動するには、Solo マネージャーの起動権限を持つ Solo ユーザーと対応するトークンおよびパスワード、またはサブパスワード認証用パスワードが必要となります。

5.3 ログオン処理(Solo認証が必須の場合)

Solo 認証が必須の場合のログオン処理の流れは、以下の通りです。

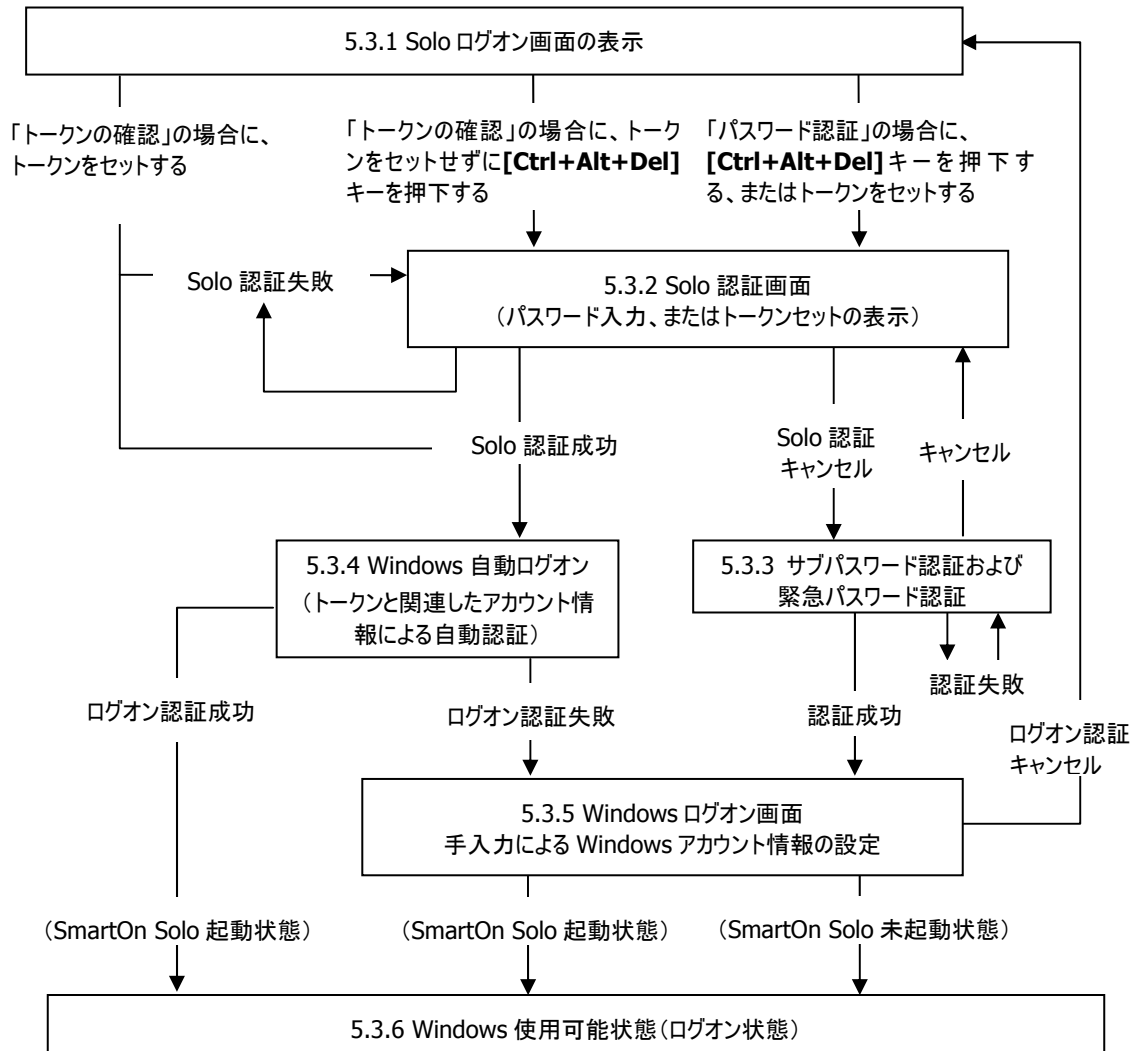


図 5.3.1 Solo 認証が必須である場合のログオン処理の流れ

5.3.1 Soloログオン画面の表示

SmartOn Solo が起動すると、図 5.3.2 の「Solo ログオン画面」が表示されます。



図 5.3.2 Solo ログオン画面

パスワード認証

トークンをセットする、または[Ctrl+Alt+Del]キーを押下すると、「5.3.2 Solo 認証画面」(図 5.3.3、または図 5.3.4)に進みます。

トークンの確認

トークンをセットすると、「5.3.4 Windows 自動ログオン」に進みます。トークンをセットせずに[Ctrl+Alt+Del]キーを押下すると、「5.3.2 Solo 認証画面」(図 5.3.5)に進みます。

5.3.2 Solo認証画面

Solo 認証の認証方式には[パスワード認証]と[トークンの確認]があります。

パスワード認証

- [トークンの先読み(Y)]チェックボックスが無効の場合



図 5.3.3 Solo 認証画面(パスワード認証)

- トークンをセットし、パスワードを入力して[OK]ボタンをクリックすると、「5.3.4 Windows 自動ログオン」に進みます。[オプション(O)]ボタンをクリックすると、「5.3.3 サブパスワード認証および緊急パスワード認証」に進み、サブパスワード認証または緊急パスワード認証により Solo 認証をキャンセルしてログオンすることができます。

- 【トークンの先読み(Y)]チェックボックスが有効の場合



図 5.3.4 Solo 認証画面(トークンの先読み機能付きパスワード認証)

- トークンの先読み(ID の取得)に失敗している間は、アイコンが赤色で表示されます。トークンをセットするとアイコンが緑色に変わり、パスワードの入力前にトークンを外すことが可能になります。パスワードを入力して【OK】ボタンをクリックすると、「5.3.4 Windows 自動ログオン」に進みます。【オプション(O)]ボタンをクリックすると、「5.3.3 サブパスワード認証および緊急パスワード認証」に進み、サブパスワード認証または緊急パスワード認証により Solo 認証をキャンセルしてログオンすることができます。

トークンの確認

トークンをセットし、【OK】ボタンをクリックすると、「5.3.4 Windows 自動ログオン」に進みます。【オプション(O)]ボタンをクリックすると、「5.3.3 サブパスワード認証および緊急パスワード認証」に進み、サブパスワード認証または緊急パスワード認証により Solo 認証をキャンセルしてログオンすることができます。



図 5.3.5 Solo 認証画面(トークンの確認)

5.3.3 サブパスワード認証および緊急パスワード認証

トークンの紛失によって Solo 認証を行うことができない場合、Solo 認証をキャンセルすることができます。Solo 認証をキャンセルしてログオンする方法には、**[サブパスワード認証]**と**[緊急パスワード認証]**があります。

サブパスワード認証

サブパスワード認証の手順は以下の通りです。

1. 図 5.3.3 または図 5.3.4、図 5.3.5 で**[オプション(O)]**ボタンをクリックすると、図 5.3.6 の「オプション」画面が表示されます。



図 5.3.6 オプション

2. **[サブパスワード認証(P)]**ボタンをクリックすると、図 5.3.7 の「サブパスワード認証」画面が表示されます。**[キャンセル]**ボタンをクリックすると、「5.3.2 Solo 認証画面」に戻ります。



図 5.3.7 サブパスワード認証

3. **[パスワード(P)]**にサブパスワード認証用パスワードを入力して**[OK]**ボタンをクリックします。**[キャンセル]**ボタンをクリックすると、図 5.3.6 の画面に戻ります。
 - ・ サブパスワード認証に成功すると「5.3.5 Windows ログオン画面」に進みます。
 - ・ サブパスワード認証に失敗すると、エラーメッセージが表示され、再び図 5.3.7 が表示されます。

緊急パスワード認証

「6 緊急パスワード認証機能」を参照してください。

5.3.4 Windows自動ログオン

Solo 認証に成功すると、トークンと関連した Windows アカウント名とパスワードを使用して、自動的に Windows にログオンします。

Windows アカウント名とパスワードが正しい場合は、「5.3.6 Windows 使用可能状態」に進みます。Windows アカウント名とパスワードが不正な場合は、「5.3.5 Windows ログオン画面」に進みます。

5.3.5 Windowsログオン画面

Solo 認証に成功したがトークンと関連した Windows アカウント名とパスワードが不正である場合、または Solo 認証をキャンセルした場合は、図 5.3.8 の「Windows ログオン画面」が表示されます。



図 5.3.8 Windows ログオン画面

正しい Windows アカウント名（ユーザー名）やパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。

Windows アカウント名とパスワードが正しい場合は、「5.3.6 Windows 使用可能状態」に進みます。Windows アカウント名とパスワードが不正な場合は、ログオンできません。



注意： Solo 認証に成功した後に Windows 認証に失敗し、そのまま手入力にて Windows にログオンした場合、入力した Windows アカウント情報が Solo マネージャーに登録されます。Solo 認証をキャンセルして Windows にログオンした場合は、Windows アカウント情報は更新されません。

5.3.6 Windows使用可能状態

Solo 認証に成功した場合は、SmartOn Solo 起動状態で Windows にログオンします。Solo 認証をキャンセルした場合は、SmartOn Solo 未起動状態で Windows にログオンします。



注意： SmartOn Solo 未起動状態で Windows にログオンした場合は、以下の機能が使用できなくなります。

- SmartOn Solo の PC ロック機能
- Solo アイコンの表示
- Solo マネージャーの起動

※Solo マネージャーを起動するには、Solo マネージャーの起動権限を持つ Solo ユーザーと対応するトークンおよびパスワード、またはサブパスワード認証用パスワードが必要となります。

5.4 PCロック/ロック解除

SmartOn Solo の PC ロックとロック解除の処理について説明します。

5.4.1 PCロック機能

PC ロック設定は、Solo マネージャーからおこないます。PC ロックのモードには、以下の 2 種類があります。

- トークンを外した場合に PC ロックを行う。

Solo マネージャーの[設定]タブで、[トークンを外したら、コンピュータをロックする(L)]チェックボックスを有効にしている場合、トークンを外すと PC にロックがかかります。



注意： Windows の処理中にトークンを外した場合、PC がロック状態にならないことがあります。この場合、Solo アイコン、またはオプションダイアログから PC ロックを行ってください。

- PC ロック処理を手動、またはスクリーンセーバーにより行う。トークンを外しても、PC ロックを行わない。

Solo マネージャーの[設定]タブで、[トークンを外したら、コンピュータをロックする(L)]チェックボックスを無効にしている場合、次の方法により、PC ロックを行うことができます。

SoloアイコンからのPCロック

図 5.4.1 の「Solo アイコン(ロック)」画面で、[ロック(L)]を選択すると、PC ロックが実行されます。Solo アイコンのメニュー表示は、Solo アイコンにマウスカーソルを合わせて右クリックすることで起動できます。

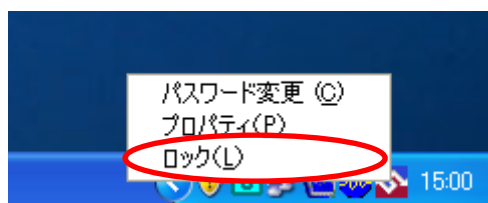


図 5.4.1 Solo アイコン(ロック)

オプションダイアログからのPCロック

図 5.4.2 の「Windows のオプションダイアログ」画面で、[コンピュータのロック(K)]ボタンをクリックすると、PC ロックが実行されます。Windows のオプションダイアログは、Windows ログオン状態で[Ctrl+Alt+Del]キーを押下することで起動できます。



図 5.4.2 Windows オプションダイアログ

スクリーンセーバー処理に同期

図 5.4.3 の「スクリーンセーバー(パスワード保護)」画面で「パスワードによる保護(P)」チェックボックスを有効にすると、PC ロックが実行されます(画面の設定では、10 分後にスクリーンセーバーが起動し PC ロック状態になります)。スクリーンセーバー画面は、デスクトップ上で右クリックして表示されるメニューから「プロパティ(R)」-「スクリーンセーバー」タブを選択することで起動できます。



図 5.4.3 スクリーンセーバー(パスワード保護)



注意: スクリーンセーバー起動時に PC ロックを有効にする設定を行ったとしても、起動から 5 秒以内にスクリーンセーバーを解除すると、PC ロックが実行されない場合があります。これは Windows の仕様(標準仕様)によるもので、スクリーンセーバー起動後 5 秒以上経過した場合は、スクリーンセーバー解除時に PC ロック画面が表示されます。

5.4.2 PCロック解除機能

PC ロックを解除するには、トークン(およびパスワード)を使用する方法と、トークンを使用せずに行う方法があります。また、マネージャー起動権限を持つユーザーのトークン(およびパスワード)を使用して、PC ロックを解除することもできます。

トークンを使用してPCロックを解除する

トークンを使用して PC ロックを解除する方法として、以下の 2 種類があります。この設定は Solo マネージャーの【設定】タブで設定します。

- PC ロック解除時にパスワード入力を行う(パスワード入力必要)
 - Solo 認証を【パスワード認証】とし、【ロック解除時はトークンの確認のみ行う(U)】チェックボックスを無効にする。
- PC ロック解除時にトークンのチェックのみ行う(パスワード入力不要)
 - Solo 認証を【トークンの確認】とする。
 - Solo 認証を【パスワード認証】とし、【ロック解除時はトークンの確認のみ行う(U)】チェックボックスを有効にする。

PC ロックが実行されると、図 5.4.4 の「Solo PC ロック画面」が表示されます。PC ロックを解除する方法は以下の通りです。

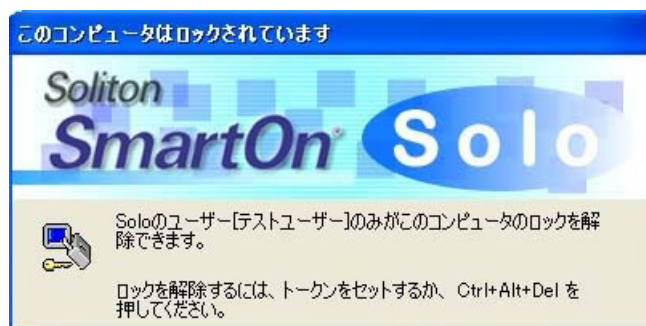


図 5.4.4 Solo PC ロック画面

- **SmartOn Solo に対して次の設定を行っている場合**：Solo マネージャーの【設定】タブで【ロック解除時はトークンの確認のみ行う(U)】、【トークンを外したら、コンピュータをロックする(L)】両方のチェックボックスを有効にしている場合は、トークンをセットすると、自動的に PC ロックが解除されます。
- **パスワード入力が必要な場合**：図 5.4.4 において【Ctrl+Alt+Del】キーを押下すると、図 5.4.5 の「PC ロック解除時のパスワード認証」画面が表示されます。PC ロックを行う前に使用していたトークンをセットし、適切なパスワードを入力して【OK】ボタンをクリックすると、PC ロックを解除できます。



図 5.4.5 PC ロック解除時のパスワード認証

- **パスワード入力が不要な場合**: 図 5.4.4 においてトークンをセットせず[**Ctrl+Alt+Del**]キーを押下すると、図 5.4.6 の「PC ロック解除時のトークンの確認」画面が表示されます。PC ロックを行う前に使用していたトークンをセットして[**OK**]ボタンをクリックすると、PC ロックを解除できます。



図 5.4.6 PC ロック解除時のトークンの確認

トークンを使用せずにPCロックを解除する

トークンを使用せずに PC ロックを解除する方法として、以下の 2 種類があります。

- サブパスワード認証用パスワードを使用して PC ロックを解除する
- 緊急パスワード認証で PC ロックを解除する

サブパスワード認証用パスワードを使用して PC ロックを解除する

ロック解除方法は以下の通りです。

1. 図 5.4.5、または図 5.4.6 で**[オプション(O)]** ボタンをクリックすると、図 5.4.7 の「オプション」画面が表示されます。



図 5.4.7 オプション

2. **[サブパスワード認証(P)]** ボタンをクリックすると、図 5.4.8 の「サブパスワード認証」画面が表示されます。



図 5.4.8 サブパスワード認証

3. サブパスワード認証用パスワードを入力して**[OK]** ボタンをクリックします。パスワード認証に成功すると、図 5.4.9 の「サブパスワード認証成功」画面が表示されます。

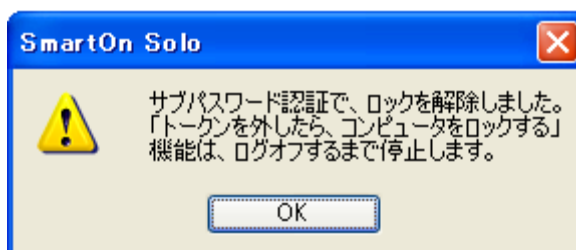


図 5.4.9 サブパスワード認証成功

4. **【OK】**ボタンをクリックすると、図 5.4.10 の「Windows ロック解除」画面が表示されます。

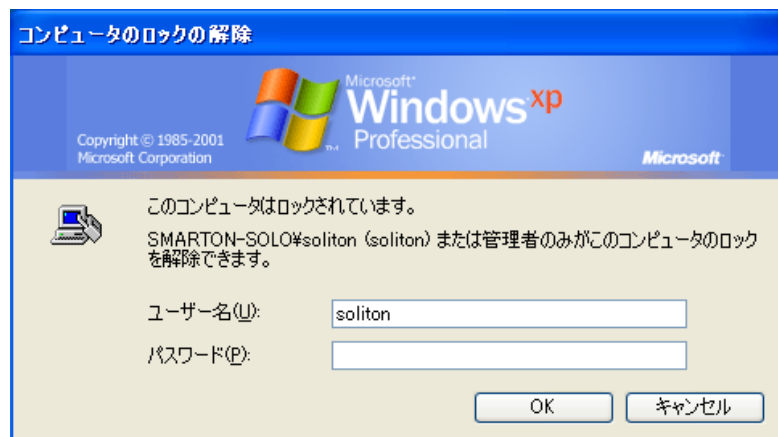


図 5.4.10 Windows ロック解除

5. PC の管理者権限のある Windows アカウントとパスワード、または PC ロック前にログオンしていた Windows アカウントとパスワードを入力して**【OK】**ボタンをクリックし、PC ロックを解除します。



注意：【トークンを外したら、コンピュータをロックする(L)】チェックボックスを有効にしている場合、サブパスワード認証によって PC ロックを解除すると、以降ログオフするまで、【トークンを外したら、コンピュータをロックする(L)】チェックボックスが無効になります。ログオフする前に再度 PC ロック状態になった場合は、**【Ctrl+Alt+Del】**キーを押下して Solo 認証画面へ移動してください。

緊急パスワード認証で PC ロックを解除する

「6 緊急パスワード認証機能」を参照してください。

マネージャー起動権限を持つユーザーのトークンを使用して、PCロックを解除する

マネージャー起動権限を持つユーザーのトークンを使用して、PC ロックを解除する手順は以下の通りです。

1. Solo マネージャーの[設定]タブで、[マネージャー起動権限を持つユーザーによるロック解除を許可する(E)]チェックボックスを有効にしておきます。

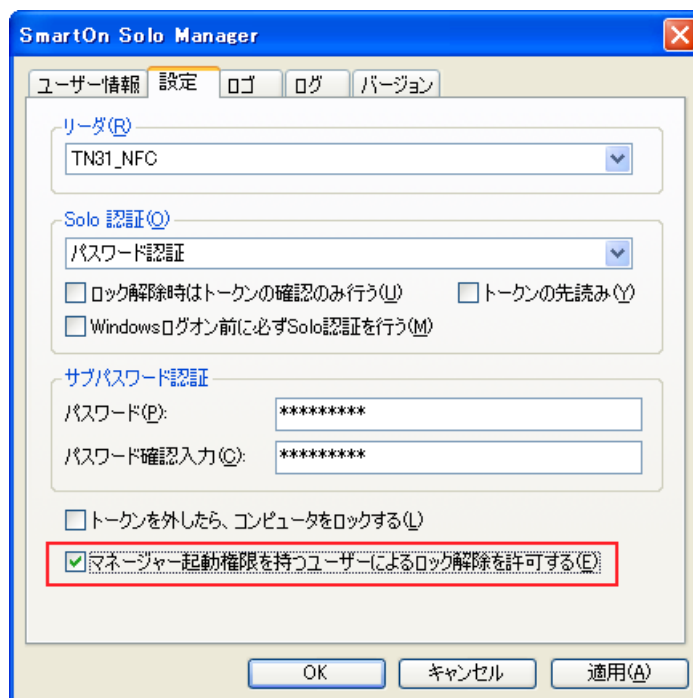


図 5.4.11 Solo マネージャー[設定]タブ

2. 図 5.4.4 の「Solo PC ロック画面」で、**[Ctrl+Alt+Del]**キーを押下します。
3. PC ロック解除時の認証画面が表示されます。
4. マネージャー起動権限を持つユーザーのトークンをセットします。
 - **パスワード入力が必要な場合**: 図 5.4.5 の「PC ロック解除時のパスワード認証」画面が表示されます。マネージャー起動権限を持つユーザーのパスワードを入力します。
 - **パスワード入力が不要な場合**: 図 5.4.6 の「PC ロック解除時のトークンの確認」画面が表示されます。
5. **[OK]**ボタンをクリックすると、PC ロックが解除されます。



注意: 通常はトークンの確認のみで PC ロックを解除できる場合でも、マネージャー起動権限を持つユーザーのトークンを使用して PC ロックを解除する場合は、図 5.4.6 の「PC ロック解除時のトークンの確認」画面が表示されます。

5.5 パスワード変更

パスワードの変更方法には、以下の2種類があります。

- Solo マネージャーからの変更
- Solo アイコンからの変更

5.5.1 Soloマネージャーからの変更

Solo マネージャーからのパスワード変更の手順は以下の通りです。

1. Solo マネージャーを起動すると、図 5.5.1 の「ユーザーの選択」画面が表示されます。



図 5.5.1 ユーザーの選択

2. 【ユーザー情報】タブの【ユーザー一覧(R)】から Solo ユーザーを選択して【プロパティ(P)...】ボタンをクリックする、または Solo ユーザーをダブルクリックすると、図 5.5.2 の「パスワードの変更」画面が表示されます。

図 5.5.2 パスワードの変更

3. **【パスワード(P)】**、**【確認入力(I)】**に変更するパスワードを入力して**【OK】**ボタンをクリックします。

5.5.2 タスクトレイのSoloアイコンからの変更

Solo マネージャーを起動できない Solo ユーザーも、タスクトレイのメニューからパスワード変更を行うことができます。

1. Solo アイコンにマウスカーソルを合わせて右クリックすると、図 5.5.3 の「Solo アイコン(パスワード変更)」画面が表示されます。

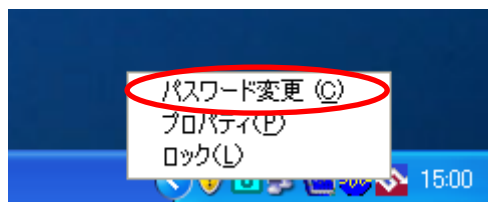


図 5.5.3 Solo アイコン(パスワード変更)



注意： Solo アイコンの**【パスワード変更(C)】**メニューは、Solo マネージャーの設定で Solo 認証が「パスワード認証」になっている場合のみ有効になります。Solo 認証が「トークンの確認」に設定されている場合は、選択できないのでご注意ください。

2. **【パスワード変更(C)】**を選択すると、図 5.5.4 の「パスワード変更」画面が表示されます。



図 5.5.4 パスワード変更

3. **【古いパスワード(O)】**、**【新しいパスワード(N)】**、**【新しいパスワードの確認入力(C)】**を入力して、**【OK】**ボタンをクリックします。

5.6 Windowsパスワード変更

Solo ユーザーの Windows パスワードを Windows のオプションダイアログ(ログオン中に**【Ctrl+Alt+Del】**キーを押下したときに表示されるダイアログ)から変更した場合、SmartOn Solo で管理している Windows パスワードも変更されます。ただし、Solo マネージャーの Windows アカウント情報を変更しても Windows で管理している Windows アカウント情報は変更されません。

Windows のオプションダイアログからの操作と Solo マネージャーで管理している Windows パスワード情報の同期をとるためには、Solo 認証により SmartOn Solo が起動されている必要があります。



注意： コントロールパネルの**【ユーザーアカウント】**や**【コンピュータの管理】**などの管理画面から Windows パスワードを変更した場合、または Windows ドメインへログオンしているアカウントの Windows パスワード変更を Windows ドメインサーバーの設定画面から行った場合、Solo マネージャーで管理している Windows パスワード情報と同期をとることができません。この場合は Solo マネージャーを起動して、関連する Solo ユーザーの Windows パスワードを変更してください。

5.7 タスクトレイのSoloアイコン

Solo 認証を行ってログオンすると、Windows のタスクトレイに図 5.7.1 の「Solo アイコン」画面のような SmartOn Solo のアイコンが表示されます。Solo 認証をキャンセルして Windows にログオンしている場合は、Solo アイコンは表示されません。



図 5.7.1 Solo アイコン

Solo アイコンにマウスカーソルを合わせて右クリックすると、図 5.7.2 の「Solo アイコンのメニュー表示」画面が表示されます。

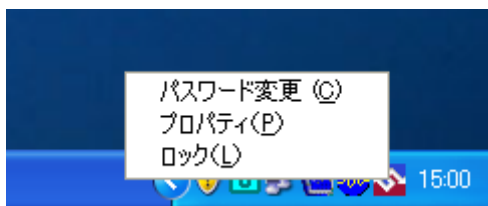


図 5.7.2 Solo アイコンのメニュー表示

このアイコンから、以下の操作を行うことができます。

- **パスワード変更(C)**

Solo ユーザーのパスワード変更ができます。詳細は「5.5.2 タスクトレイの Solo アイコンからの変更」を参照してください。

- **プロパティ(P)**

Solo マネージャーを起動します。ただし、Solo マネージャーの起動が許可されているユーザーのみ利用できます。詳細は「4.1.1 SmartOn Solo 起動時の Solo マネージャーの起動」を参照してください。
Solo マネージャーの起動は Solo アイコンをダブルクリックすることでも可能です。

- **ロック(L)**

PC をロックします。詳細は「5.4.1 PC ロック機能」を参照してください。



注意： Solo マネージャーの起動中に、Solo アイコンのメニューから**プロパティ(P)**を選択したり、Solo アイコンをダブルクリックした場合、起動中のマネージャーがアクティブになります。

5.8 PCの省電力機能対応について

PC の省電力機能とは、一定時間、キー入力やマウスの操作がない場合に、作業状態をメモリに保存した上で、ハードディスクやモニタなどパソコン本体の電力消費を最小限にまで落とす、または電源を切る機能のことです。この設定は、コントロールパネルの**【電源オプション】**で設定できます。

SmartOn Solo は、この PC の省電力機能に対応しています。SmartOn Solo がインストールされている PC が省電力状態（スタンバイ、または休止状態）になると、PC ロック状態になります。図 5.8.1 の「電源オプション設定」画面で**【スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める(P)】**チェックボックスを無効にしても、省電力状態から復帰する時に Solo 認証が必要となりますのでご注意ください。

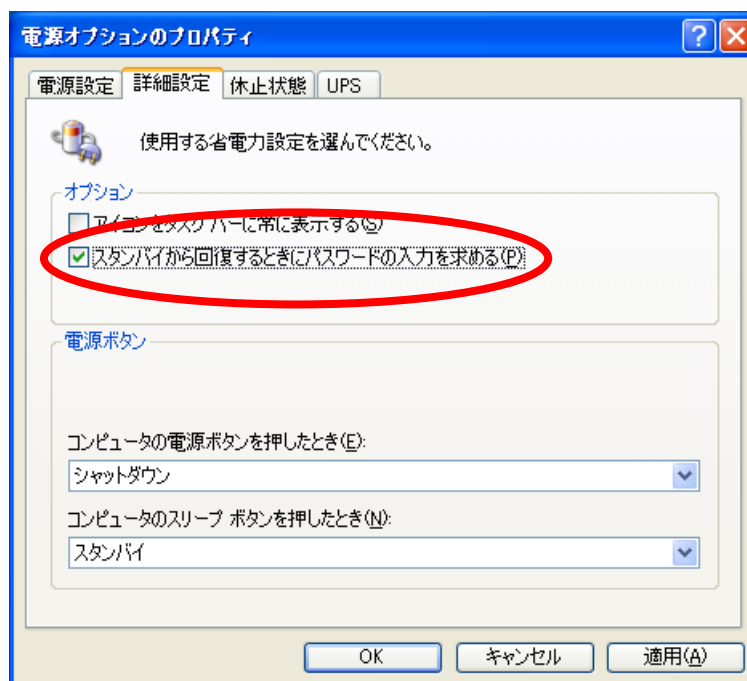


図 5.8.1 電源オプション設定



注意： 省電力機能を使用するには、認証デバイスも省電力機能に対応している必要があります。

5.9 ファイル・フォルダ隠し機能

ファイル・フォルダ隠し機能とは、ログ出力機能が有効になっている場合に、ログファイルおよびログフォルダを隠す機能です。



注意： ファイル・フォルダ隠し機能は、インストール時に設定するため、Solo マネージャーでは設定できません。

5.9.1 ログフォルダおよびログファイルが表示されるSoloユーザーの条件

ファイル・フォルダ隠し機能が有効な場合、ログフォルダおよびログファイルは、Solo マネージャーを起動できる Solo ユーザーが Solo 認証を使用して Windows にログオンした場合に限り、エクスプローラ上に表示されます。Solo 認証と Solo マネージャーの起動権限によって、ログフォルダおよびログファイルを閲覧できる Solo ユーザーを制限します。

ログフォルダおよびログファイルが表示される Solo ユーザーの条件は、表 5.9.1 の通りです。

表 5.9.1 ファイル・フォルダ隠し機能

項目	Solo 認証を行ってログオン	Solo 認証を行わずにログオン
Solo マネージャーを起動できる	表示される	表示されない
Solo マネージャーを起動できない	表示されない	表示されない

ログフォルダやログファイルを表示する権限がない場合はログフォルダやログファイルはエクスプローラ上からは見えなくなりますが、【ファイル名を指定して実行(R)...などで直接指定することによりアクセスすることは可能です。

5.9.2 ログフォルダおよびログファイルの閲覧権限によるログフォルダの表示の違い

ログフォルダ名が“SoloLog”、ログファイル名が“SSO2005****.log”とします。Solo 認証を行ってログオンし、Solo マネージャーを起動できる Solo ユーザーがエクスプローラを起動すると、図 5.9.1 および図 5.9.2 のように表示されます。

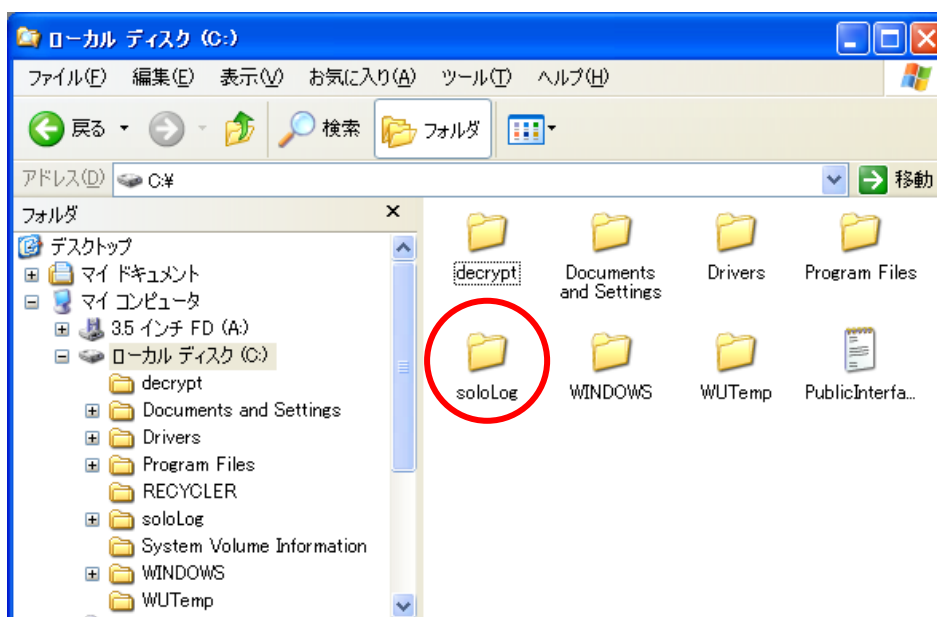


図 5.9.1 閲覧権限のあるユーザーが 1 つ上の階層からログフォルダを見た状態

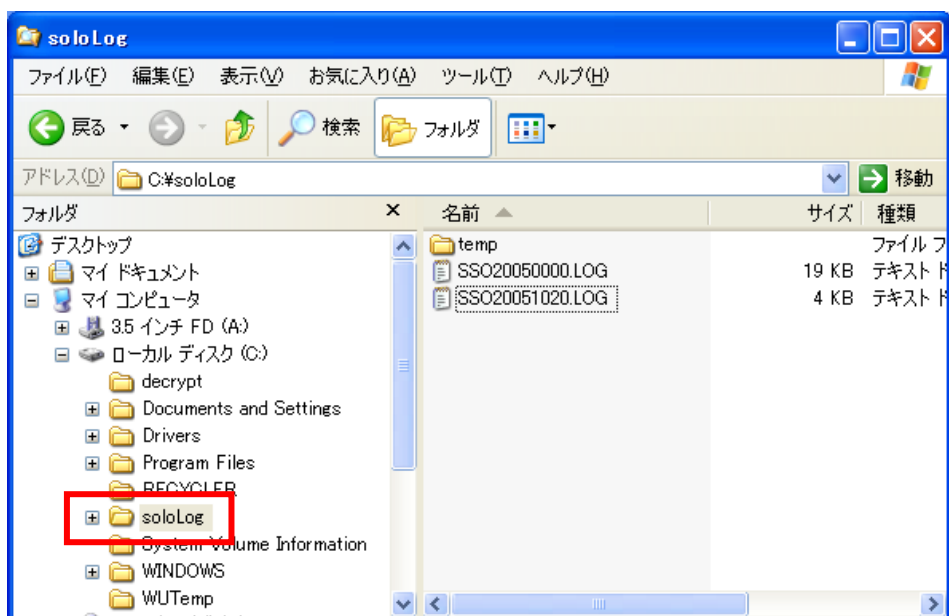


図 5.9.2 閲覧権限のあるユーザーがログフォルダの中を見た状態

ログフォルダおよびログファイルの閲覧権限がない Solo ユーザーがエクスプローラを起動すると、図 5.9.3 および図 5.9.4 のように表示されます。

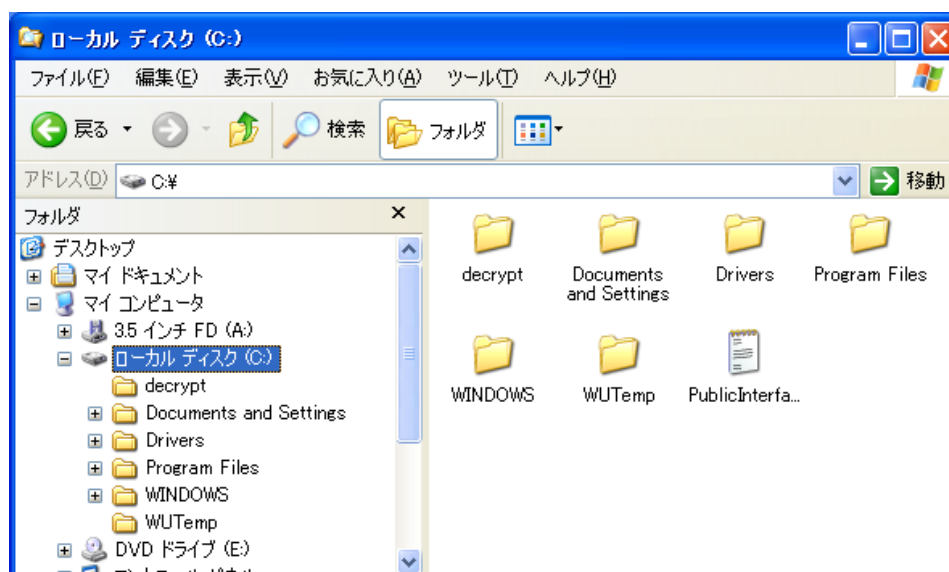


図 5.9.3 閲覧権限のないユーザーが 1 つ上の階層からログフォルダを見た状態



注意: ログファイルをログフォルダ以外にコピー、または移動した場合、すべてのユーザーがログファイルを閲覧できます。

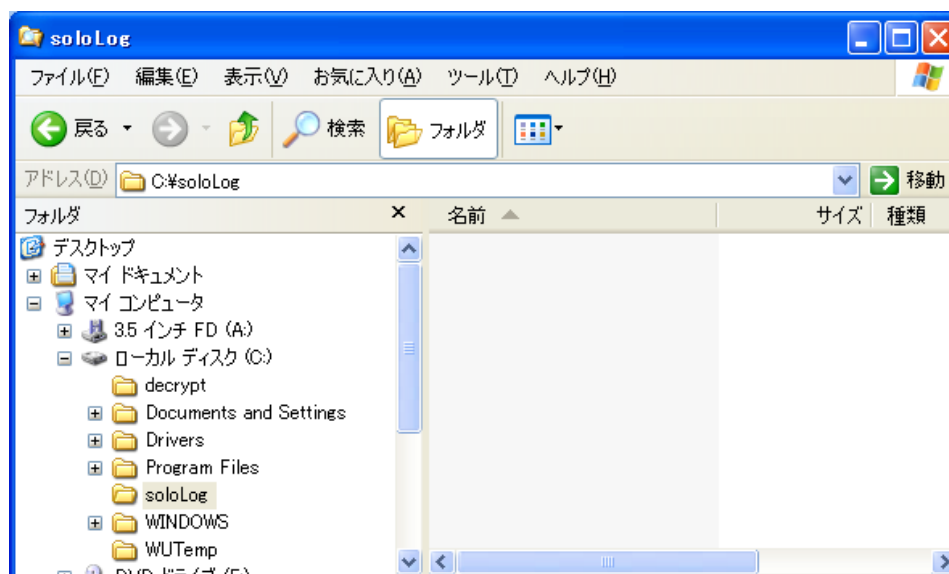


図 5.9.4 閲覧権限のないユーザーがログフォルダの中を見た状態

6. 緊急パスワード認証機能

緊急パスワード認証機能とは、SmartOn Solo をインストールしライセンス登録を行った Solo ユーザーが、トークン、またはパスワードの紛失に加えてサブパスワード認証用パスワードを紛失し、ログオン、または PC のロック解除ができなくなった場合に、付属の解除キー、またはオペレータが発行する解除コードを使用し一時的にログオン、PC ロック解除を行う機能です。



注意： 緊急パスワード認証機能を使用する場合は、Solo マネージャーの**[設定]**タブで、**[Windows ログオン前に必ず Solo 認証を行う(M)]**チェックボックスを有効にしておく必要があります。

6.1 緊急パスワード認証ウィザードの操作

緊急パスワード認証は、緊急パスワード認証ウィザードを起動して行います。緊急パスワード認証ウィザードはログオン画面、または PC ロック解除画面から起動することができます。

6.1.1 ログオン画面からの操作

ログオン画面から緊急パスワード認証ウィザードを起動する手順は以下の通りです。



図 6.1.1 Solo 認証画面(ログオン)

1. 図 6.1.1 の「Solo 認証画面(ログオン)」画面で**[オプション(O)]**ボタンをクリックすると、図 6.1.2 の「オプション」画面が表示されます。



図 6.1.2 オプション

2. **[緊急パスワード(K)]**ボタンをクリックすると、図 6.1.3 の「緊急パスワード認証ウィザード」画面が表示されます。

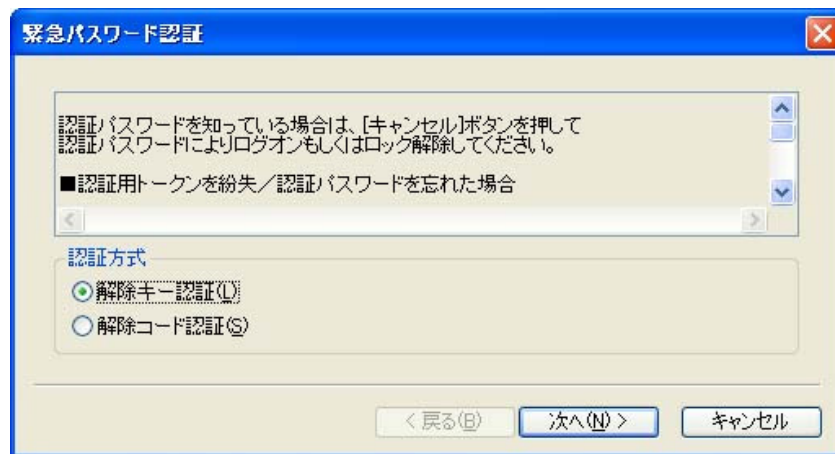


図 6.1.3 緊急パスワード認証ウィザード

緊急パスワード認証ウィザードで実行できる認証は、解除キー認証と解除コード認証の 2 種類です。

6.1.2 PCロック解除画面からの起動

PC ロック解除画面から緊急パスワード認証ウィザードを起動する手順は以下の通りです。



図 6.1.4 Solo 認証画面(ロック解除)

1. 図 6.1.4 の「Solo 認証画面(ロック解除)」で「オプション(O)」ボタンをクリックすると、図 6.1.5 の「オプション」画面が表示されます。



図 6.1.5 オプション

2. 「緊急パスワード(K)」ボタンをクリックすると、図 6.1.6 の「緊急パスワード認証ウィザード」画面が表示されます。

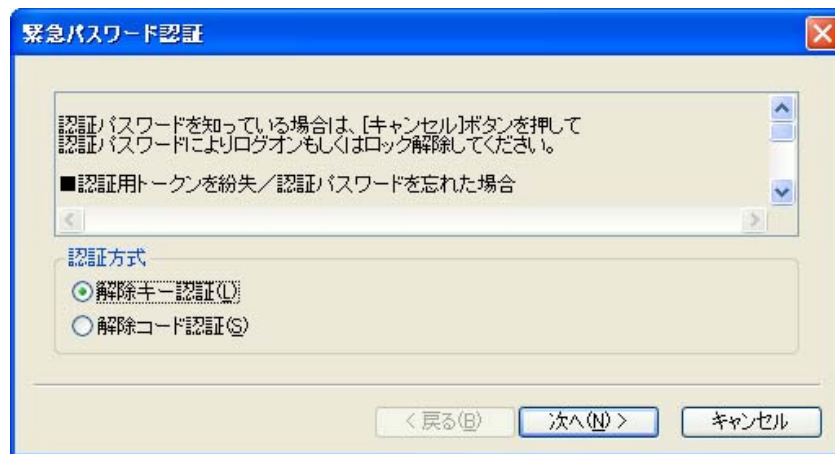


図 6.1.6 緊急パスワード認証ウィザード

緊急パスワード認証ウィザードで実行できる認証は、解除キー認証と解除コード認証の 2 種類です。

6.2 緊急パスワード認証手順

6.2.1 解除キー認証

製品に同梱されている解除キーを入力し、Solo 認証をキャンセルします。解除キー認証の手順は以下の通りです。

1. 図 6.1.3、または図 6.1.6 の認証方式で**解除キー認証(L)**を選択し**次へ(N)>**ボタンをクリックすると、図 6.2.1 の「解除キー入力」画面が表示されます。

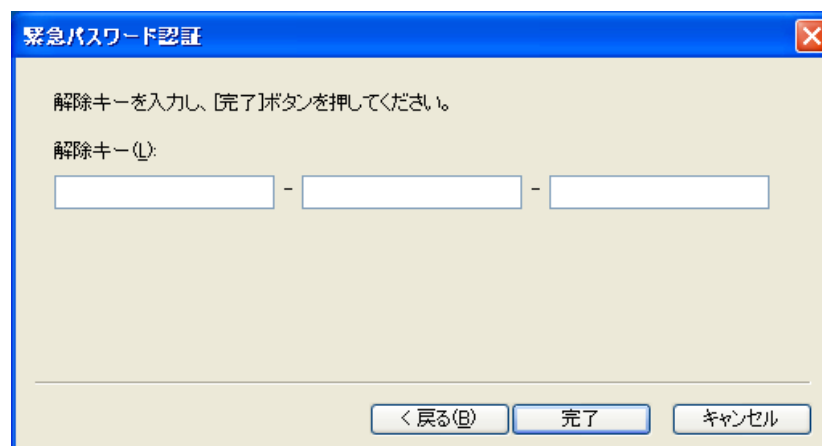


図 6.2.1 解除キー入力

2. 製品に同梱されている解除キーを入力し**完了**ボタンをクリックすると、Solo 認証をキャンセルすることができます。

6.2.2 解除コード認証

製品に同梱されている解除キーがわからない場合は、解除コードを入手して Solo 認証をキャンセルします。解除コード認証の手順は以下の通りです。

1. 図 6.1.3、または図 6.1.6 の認証方式で**【解除コード認証(S)】**を選択し**【次へ(N)>】**ボタンをクリックすると、図 6.2.2 の「解除コード入力」画面が表示されます。

図 6.2.2 解除コード入力

2. 「ライセンスコード」と「認証コード」を同梱の連絡先、またはオペレータに伝えます。オペレータから解除コードを入手後、**【解除コード(R)】**を正しく入力し**【完了】**ボタンをクリックすると、Solo 認証をキャンセルすることができます。



注意： 認証に 3 回失敗すると、認証コードが変更されます。認証失敗により認証コードが変更された場合は、再度オペレータに「ライセンスコード」と変更された「認証コード」を連絡して、解除コードを入手しなおしてください。

6.3 緊急パスワード認証後の動作

6.3.1 Windowsログオン画面からの解除

緊急パスワード認証に成功した場合、Windows のログオン画面が表示されます。ローカル PC の管理者用の Windows アカウントとパスワードを入力してください。緊急パスワード認証により、SmartOn Solo が未起動状態で Windows にログオンできます。

この状態で、SmartOn Solo をアンインストールしてください。継続して SmartOn Solo を使用する場合は、再度インストールしてください。この時に設定するサブパスワード認証用のパスワードを忘れないようにしてください。

6.3.2 Windowsロック画面からの解除

Windows ロック画面から解除した場合、SmartOn Solo の設定情報は、トークンを外しても PC ロックを行わないモードになりますが、SmartOn Solo は動作状態のままです。そのため、ログオフすると再度 SmartOn Solo の認証画面が表示されます。ログオフする前に Solo マネージャーを起動し、サブパスワード認証用パスワードを再設定してください。

なお、SmartOn Solo マネージャーを起動する権限がない場合は一旦ログオフし、再度、ログオン画面から緊急パスワード認証を使用してログオンし、SmartOn Solo をアンインストールしてください。

7. 制限事項・注意事項

この章では、SmartOn Solo の制限事項および注意事項について説明します。

7.1 制限事項

SmartOn Solo には現在、以下の制限事項があります。

インストール時の制限事項	
ログオン背景色	ユーザーのオプションでよろこ画面を有効にした状態で SmartOn Solo をインストールすると、ログオン画面の背景が黒色になります。
インストールパス	SmartOn Solo のインストールパスの文字数は、200 文字以下です。
パス名	インストールフォルダ、またはプログラムフォルダのパスとして、カタカナや漢字を使用すると、インストール後に空のフォルダが作成される場合や、アンインストール後に一部のファイル・フォルダが残る場合があります。
同時にインストールできない可能性がある市販アプリケーション	SmartOn Solo は、GINA(Graphical Identification and Authentication)を利用するソフトウェアです。GINA とは Windows 標準で提供されるログオン機能を拡張するために提供されている機能で、ユーザーの認証方法として、IC カードや USB キー、指紋認証装置などを利用するなどのカスタマイズを可能にします。他社製品で SmartOn Solo と同様に GINA を利用しているアプリケーションは、SmartOn Solo を同じ環境にインストールして使用できない場合がありますので注意してください。
自動ログオン	Windows のログオン設定が自動ログオン(PC 起動時に自動的に Windows にログオンする設定)になっている場合、Windows のログオン設定をアカウント/パスワード入力によるログオンに設定変更した後、SmartOn Solo をインストールしてください。
SmartOn シリーズとの共存	SmartOn Solo は、弊社 SmartOn, SmartOn NEO, SmartOn ID との共存はできません。
設定に関する制限事項	
ロゴ画像ファイル	Solo マネージャーの[ロゴ]タブで[参照(B)...]ボタンをクリックしてリストに複数の画像ファイルを追加しても、設定された画像ファイル以外は保存されません。次回 Solo マネージャー起動時には、追加したファイルがリストされません。
Solo ユーザー情報に関する制限事項	
Windows アカウント名	図 4.2.3 の「 アカウント選択 」画面でリストに表示される Windows アカウント名は、ローカル PC に登録されている Windows アカウント名です。[コントロールパネル(C)]から[ユーザーアカウント]画面を開き、すでに登録されている Windows アカウントのユーザー名を変更すると、Windows におけるユーザー名は変更されますが、「アカウント選択」画面でリストに表示される Windows アカウント名は変更されません。
トークンのセットに関する制限事項	
ログオン/PC ロック画面	トークンがセットされたままログオフ/PC ロックを行った場合は、トークンを一度外しないと、Solo 認証/PC ロック解除認証画面へは自動的に移行しません。
PC ロック画面	Solo マネージャーで設定する[トークンを外したら、コンピュータをロックする(L)]チェックボックスが有効な場合、PC ロック画面でトークンをセットすると自動的に Solo 認証画面に移動しますが、上記の設定が無効な場合、PC ロック画面でトークンをセットし[Ctrl+Alt+Del]キーを押下する必要があります。
トークンの取り外しに関する制限事項	
PC ロック機能	Windows の処理中にトークンを外した場合、PC ロック状態にならないことがあります。この場合、Solo アイコン、またはオプションダイアログから PC ロックを行ってください。

ログ機能に関する制限事項	
ログファイル	ログ出力機能を有効に設定していても、ログファイルを Excel などを開いていると、SmartOn Solo はログをファイルに出力できません。
ファイル・フォルダの隠し拡張機能	ファイル・フォルダの隠し拡張機能の有効/無効を切りかえるには、SmartOn Solo の上書きインストールが必要です。
ユーザー名	ログファイルのユーザー名に記録できる文字数は、最大で半角 30 文字、全角 15 文字です。Solo マネージャーで全角 16 文字以上のユーザー名を設定しても、ログファイルのユーザー名には全角 15 文字までしか記録されません。
トークンを利用するアプリケーションとの共存に関する制限事項	
設定	トークンを利用するアプリケーションを利用する場合は、 [トークンを外したら、コンピュータをロックする(L)] チェックボックスを無効にする必要があります。
PC ロック機能	トークンを利用するアプリケーションの起動中に PC をロックすると、認証デバイスにアクセスできなくなる場合があります。
スクリーンセーバーからの復帰	スクリーンセーバーの設定にて [パスワードによる保護(P)] を有効にしている場合、トークンを使用するアプリケーションを起動中にスクリーンセーバーが起動されると、復帰時に認証デバイスにアクセスできなくなる場合があります。
省電力状態からの復帰	トークンを使用するアプリケーションを起動中に省電力状態(スタンバイモード/休止状態)へ移行すると、復帰時に認証デバイスにアクセスできなくなる場合があります。
Windows XP Professional で使用時の制限事項	
リモート デスクトップ	SmartOn Solo をインストールした PC に対してリモートデスクトップ接続を行った場合は、Solo 認証を行う前に「このコンピュータへのリモートデスクトップ接続は禁止されています。」というダイアログメッセージが表示され、リモートデスクトップ接続を切断します。
Solo Encrypt 使用時の制限事項	
ログフォルダと暗号フォルダ	SmartOn Solo のログフォルダと Solo Encrypt の暗号フォルダに同一のフォルダを指定すると、問題が起きることがあります。 それぞれ異なるフォルダを指定してください。

7.2 注意事項

SmartOn Solo を使用するにあたり、以下の点に注意してください。

管理者権限	インストール/アンインストールをおこなう場合、ローカル PC の管理者権限が必要です。 なお、その他の動作についてはユーザーの権限に依存しません。
サブパスワード認証用パスワード	Solo マネージャーで設定するサブパスワード認証用パスワードは絶対に忘れないようにしてください。このパスワードは、Solo 認証をキャンセルするために必要です。
IC カードと IC カードリーダー	SmartOn Solo を利用する環境では、IC カードリーダーおよび対応する IC カードが必要です。SmartOn Solo をインストールする前に準備してください。IC カードリーダーについては、接続する前に、ドライバのインストールを行っておいてください。 IC カードリーダーのドライバのバージョンは、「3.1 動作環境」の表 3.1.1「動作確認済み認証デバイス」に明記されたものを使用してください。 IC カードリーダーのドライバソフトウェアのインストール方法については、IC カードリーダー付属の説明書を参照してください。 また、ドライバのインストールについて不明な場合は、IC カードリーダーを購入した購入店に確認してください。 複数の IC カードリーダーや USB キーを同時に接続しないでください。IC カードリーダーを搭載している PC をお使いの場合は、内蔵の IC カードリーダーを停止してご使用ください。 USB キーが IC カードリーダーと認識される種類のものについては共存できません。USB キーのドライバをアンインストールしてください。 PC 起動中、または省電力状態（スタンバイモード/休止状態）では、IC カードリーダーの抜き差しを絶対に行わないでください。IC カードリーダーを抜き差しする場合は、PC の電源を切った状態で行ってください。ただし、コンピュータが USB 接続の IC カードリーダーにアクセスできなくなった場合は IC カードリーダーのマニュアルを参照し抜き差ししてください。
PC ロック機能	Solo 認証をキャンセルして Windows にログオンした場合は、SmartOn Solo の PC ロック機能は使用できません。 Windows の処理中にトークンを外した場合、PC ロック状態にならないことがあります。この場合、Solo アイコン、またはオプションダイアログから PC ロックを行ってください。
ようこそ画面	SmartOn Solo をインストールすると、Windows XP の「ようこそ」画面が使用できなくなります。
アンインストール	Solo Encrypt などの SmartOn Solo の AddOn 製品がインストールされている場合、SmartOn Solo をアンインストールできません。 SmartOn Solo の AddOn 製品を先にアンインストールし、その後に SmartOn Solo をアンインストールしてください。
上書きインストール	SmartOn Solo V1.2 には、英語表示機能がありません。 SmartOn Solo V1.0 の英語表示の状態では SmartOn Solo V1.2 を上書きインストールすると、表示内容が日本語表示になります。
ログフォルダ	ログを出力しない場合でもログフォルダに指定したフォルダがコンピュータに存在しない場合、ログフォルダを作成します。
Microsoft Office 2003 の共存	Office 2003 Service Pack なしの問題により、Windows のユーザー権限のアカウントでロック解除を行うとコンピュータが自動的に再起動することがあります。 Office 2003 と共存させる場合には、かならず Office 2003 Service Pack1 以降を導入してください。
Windows へのログオンを代行するソフトウェアの共存	Windows では仕組み上、Windows ログオン代行機能を基本的に一つのソフトウェアしか提供することができません。SmartOn Solo を使用する場合、他のログイン代行ソフトウェアを停止または削除する必要があります。
Windows の機能を拡張するハードウェア・ソフトウェア	Windows 自体の機能を拡張するハードウェア・ソフトウェアとは共存できないことがあります。

7.3 トークンを利用するアプリケーション使用時の注意点

トークンを利用するアプリケーションを使用する場合、以下の点に注意してください。

設定	Solo マネージャーの設定で、 【トークンを外したら、コンピュータをロックする(L)】 チェックボックスを無効にしてください。設定方法は、「3.4.1 新規インストール」の図 3.4.12 の「Solo マネージャー[設定]タブ」画面、および手順 12 を参照してください。
PC ロック機能	トークンを利用するアプリケーション使用中は、PC をロックさせないようにしてください。アプリケーション使用後は、アプリケーションを終了させてください。
	トークンを利用するアプリケーションを起動中に PC がロックしてしまった場合、トークンによる PC ロック解除ができない場合があります。この場合は、サブパスワード認証により PC ロックを解除してください。
	省電力状態(スタンバイモード/休止状態)への移行時に、SmartOn Solo は PC をロック状態にしますが、トークンを利用するアプリケーションが起動されている場合、トークンによる PC ロック解除ができない場合があります。この場合は、サブパスワード認証により PC ロックを解除してください。

8. 困ったときは

SmartOn Solo のインストール、または使用中に問題の起きた場合は、以下の情報を参照してください。

8.1 よくある質問

SmartOn Solo についてよくある質問をまとめました。

Q1 インストール中の「リーダの接続とトークンを確認」画面でリーダへのアクセスに失敗しました。

A1 認証デバイスへのアクセスに失敗したというメッセージが表示された場合は、以下の項目をご確認ください。

1. 認証デバイスが正常に接続されていますか
接続されていない場合は、認証デバイスを接続した後、再度**【アクセス確認(A)】**ボタンをクリックしてください。
2. 動作確認済みバージョンのドライバがインストールされていますか
「3.1 動作環境」の表 3.1.1「動作確認済み認証デバイス」に明記されていないドライバがインストールされている場合は、一旦インストールを中止し、動作確認済みバージョンのドライバをインストールしてから、再度 SmartOn Solo をインストールしてください。
3. トークンを利用するアプリケーションが起動されていませんか
SmartOn Solo の他にトークンを利用する他のアプリケーションが起動している場合は、他のアプリケーションを終了してから、再度**【アクセス確認(A)】**ボタンをクリックしてください。
4. USB ハブを使用して IC カードリーダライタを接続していませんか
USB ハブを使用して IC カードリーダライタを接続すると、IC カードリーダライタを正常に認識できない場合があります。USB ハブを使用せずに IC カードリーダライタを接続してください。

Q2 PC 起動時に評価期限切れのメッセージが表示されました。

A2 Solo 認証をキャンセルして Windows にログインし正規ライセンスを登録してください。ライセンス登録方法は、「4.2.5 バージョン」の「ライセンスの登録(L)…」項目を参照してください。

Q3 評価期間を延長することはできますか。

A3 評価期間を延長することはできません。SmartOn Solo を一度アンインストールして再インストールを行っても SmartOn Solo の機能を使用することはできません。

Q4 タスクバーに Solo アイコンが表示されません。

A4 Solo 認証をキャンセルして Windows にログインした場合は、アイコンが表示されません。

Q5 Solo アイコンのプロパティメニューが選択できない(グレースアウト)状態です。

A5 Solo マネージャーを起動する権限のない Solo ユーザーでログインしている場合はメニューがグレースアウトします。Solo マネージャーを起動する権限のある Solo ユーザーでログインしてください。

Q6 パスワードを忘れてしまいました。

A6 サブパスワード認証を使用して Solo 認証をスキップし Windows にログインします。その後、Solo マネージャーをパスワード認証で起動し、**【ユーザー情報】**タブで新しいユーザーパスワードを設定してください。

Q7 サブパスワード認証用パスワードを忘れてしまいました。

A7 トークンを使用して Windows にログインし、Solo マネージャーの**【設定】**タブでサブパスワード認証用パスワードを変更してください。

- Q8** トークンを紛失してしまいました。
A8 サブパスワード認証を使用して Solo 認証をキャンセルしてください。Solo 認証画面からオプションダイアログを起動すると、サブパスワード認証を行うことができます。サブパスワード認証後、Windows にログオンします。その後、Solo マネージャーをサブパスワード認証で起動し、**[ユーザー情報]**タブのユーザーのプロパティから新しいトークンを登録してください。
- Q9** トークンを紛失し、かつ、サブパスワード認証用パスワードを忘れてしまいました。
A9 製品に添付されている解除キーを使用して、Solo 認証をキャンセルします。緊急パスワード認証機能を使用できる場合は、オペレータに連絡して解除コードを発行してもらい Solo 認証をキャンセルします。次に、Windows 管理者権限のあるアカウントで Windows にログオンし、SmartOn Solo をアンインストールしてください。
- Q10** トークンをセットしてもパスワード入力ダイアログが表示されません。
A10 **[トークンを外したら、コンピュータをロックする(L)]**チェックボックスが無効になっている場合、トークンをセットする確認を行いません。そのため、**[Ctrl+Alt+Del]**キーを押下して、PC ロック解除の画面(パスワード入力)を表示してください。
- Q11** SmartOn Solo の入った PC にリモートデスクトップで接続するとエラーが表示されます。
A11 SmartOn Solo をインストールすると、リモートからの接続を禁止します。
- Q12** 省電力状態(スタンバイモード/休止状態)に移行した後、復帰時に認証デバイスにアクセスできなくなりました。
A12 **[Ctrl+Alt+Del]**キーを押下すると PC ロック解除画面が表示されますので、**[オプション(O)]**ボタンをクリックしてサブパスワード認証により PC ロックの解除を行ってください。サブパスワード認証により PC ロックを解除した場合、ログオン中は**[トークンを外したら、コンピュータをロックする(L)]**機能は無効になります。なお、ログオフ、または再起動によりログオンしなおした場合、この設定は有効になります。
- Q13** ログオンの開始画面で**[Ctrl+Alt+Del]**キーを同時に押下すると、「リーダのドライバを再インストールしてください」という内容のエラーメッセージが表示されます。
A13 トークンのドライバが未対応バージョンに更新された、または削除された場合に、上記のメッセージが表示されます。エラーメッセージ画面で**[OK]**ボタンをクリックすると Windows のログオン画面が表示されますので、Windows にログオン後、対応バージョンのドライバ(「3.1 動作環境」を参照)を再インストールし PC を再起動してください。なお、弊社、または製品販売元より更新したドライバに対応した SmartOn Solo のインストールプログラムが入手できる場合は、SmartOn Solo を上書きインストールしてください。
- Q14** 「機能転送エラー」が表示されて、アンインストールできません。
A14 一度 Windows からログオフし、SmartOn Solo をインストールしたときの Windows アカウントでログオンしなおしてからアンインストールを実行してください。SmartOn Solo をインストールした Windows アカウントと、アンインストールする Windows アカウントが異なる場合、「機能転送エラー」が表示されることがあります。
- Q15** **[ファイル・フォルダ隠し拡張機能]**を有効/無効化したい。
A15 SmartOn Solo V1.2 を上書きインストールする必要があります。また、**[ファイル・フォルダ隠し拡張機能]**を有効化した場合は、インストール後、Solo マネージャーでログの設定を再設定して PC を再起動する必要があります(再設定するまでログフォルダの隠し機能は有効になりません)。
- Q16** インストールを行うと「セットアップの実行中にエラー(-0511: 0x8002803b)が発生しました」と表示されます。
A16 インストールシールドの共通フォルダの名前を変更後、再度インストールを実行してください。共通フォルダのパスは通常[C:\¥Program Files¥Common Files¥InstallShield]です。
- Q17** インストール作業を中断した後、ファイルなどが残りました。これらのファイルを削除したい。
A17 SmartOn Solo のインストールを再度行った後、アンインストールを行ってください。
- Q18** アンインストール作業を中断した後、動作が不安定になりました。
A18 SmartOn Solo の上書きインストールを行った後、アンインストールを行ってください。

Q19 画面がロックされます。

A19 SmartOn Solo は、**【トークンを外したら、コンピュータをロックする(L)】**の設定が有効になっている場合、トークンの有無を確認するために SmartOn Solo が定期的にトークンへアクセスします。PC の使用環境（電源ノイズなど）によってはアクセスエラーとなり、トークンがセットされていないと判断して画面をロックしてしまいます。画面ロックが頻繁に発生する場合は、Solo マネージャーを使用して、**【トークンを外したら、コンピュータをロックする(L)】**を無効にしてください。

付録

- 付録 A メッセージ一覧
- 付録 B ログ出力内容一覧

付録A. メッセージ一覧

SmartOn Solo のメッセージは以下の通りです。

インストール

機能詳細/ダイアログ名	メッセージ	内容補足	対処方法
セットアップウィザード起動時	インストールには管理者権限が必要です。インストールを中止します。		ログオフして、管理者権限のある Windows アカウントにてログオン後、SmartOn Solo をインストールしてください。
セットアップウィザード起動時	自動ログオン機能が有効になっています。自動ログオン機能を無効にしてから、SmartOn Solo をインストールしてください。	自動ログオンが設定されているコンピュータにおいて、Solo のインストールを実行した場合に表示されます。	自動ログオンを無効にしてから、SmartOn Solo をインストールしてください。 詳細については、「3.3.4 自動ログオン設定の解除」を参照してください。
セットアップウィザード起動時	セットアップの実行中にエラー(-5011:0x8002802b)が発生しました。	コンピュータにインストールされているインストーラの共通ファイルが破損している可能性があります。	フォルダ 「C:\Program Files\Common Files\InstallShield」の名前を変更後、再度、SmartOn Solo をインストールしてください。
インストール先の選択	フォルダ名は長すぎます。他のフォルダを選択してください。(フォルダ名の制限は 200 文字以内です。)		インストールパス(インストール先のフォルダ)の文字数を、200 文字以下になるように編集してから、SmartOn Solo をインストールしてください。
インストール先の選択	インストール先には、ハードディスクドライブを選択してください。	インストールパス(インストール先のフォルダ)として、ネットワークドライブやリムーバブルディスクのようなハードディスク以外のドライブを指定した場合に表示されます。	インストールパスとして、ハードディスクドライブのフォルダを指定してから、SmartOn Solo をインストールしてください。
インストール先の選択	タイトル: 機能転送エラー 機能: Main App コンポーネント: App Executable ファイル: E:\a\mfc41b81.rra エラー: ディスクに十分な空き領域がありません。	インストール先として指定したドライブに SmartOn Solo をインストールできるだけの空き容量がない場合に表示されます。	インストール先として指定したドライブに SmartOn Solo をインストールできるだけの空き容量がない場合は、強制的に SmartOn Solo のインストールが終了します。 再度セットアッププログラムを起動し、十分な空き容量があるドライブを指定してから、SmartOn Solo をインストールしてください。
インストール先の選択	指定されたディレクトリ: '\$1' は無効か、不完全か、または書き込みができません。たとえば「C:\APPS」のように、ドライブ名からパスをすべて入力してください。	存在しないドライブ、または不正なファイルパスを指定した場合に表示されます。 \$1: 指定したインストールパス	SmartOn Solo をインストールするための十分な空き容量がある実在のハードディスクドライブをインストール先として指定してから、SmartOn Solo をインストールしてください。

機能詳細/ダイアログ名	メッセージ	内容補足	対処方法
インストールファイルコピー中	既に GINA (\$1.dll) が登録されています。 SmartOn Solo をインストールすると問題が発生する場合があります。 続行しますか？	SmartOn Solo 以外に GINA を利用する製品がインストールされているコンピュータでセットアップを起動した場合に表示されます。 \$1: 既に登録されている GinaDLL の名称	SmartOn Solo の他に GINA を利用するアプリケーションがインストールされている場合は、一度そのアプリケーションを削除してから SmartOn Solo をインストールしてください。 どうしても共存する必要がある場合は、各アプリケーションの共存環境にて十分に動作検証を行ってから SmartOn Solo をインストールしてください。
リーダの接続とトークンを確認	リーダのドライバが見つかりません。 リーダの接続を確認してください。	認証デバイスのドライバソフトウェアがインストールされていない場合に表示されます。	SmartOn Solo でサポートされている認証デバイス用ドライバソフトウェアをインストールしてから、SmartOn Solo をインストールしてください。
リーダの接続とトークンを確認	リーダのアクセスに失敗しました。 SmartOn Solo のサポートするリーダが接続されているが確認してください。 他のアプリケーションがリーダを使用している場合はアプリケーションを終了してください。		認証デバイスの接続を確認してください。 トークンを利用する SmartOn Solo 以外のアプリケーションが起動している場合は、そのアプリケーションを終了してから、SmartOn Solo をインストールしてください。
リーダの接続とトークンを確認	トークンをリーダにセットしてください。		認証デバイスの接続とトークンの状態を確認してください。

アンインストール

機能詳細/ダイアログ名	メッセージ	内容補足	対処方法
アンインストールウィザード 起動時	SmartOn Solo が起動しています。SmartOn Solo をアンインストールするには、SmartOn Solo を使用せずに、Windows にログオン後、再度、アンインストールしてください。		パスワード認証または、緊急パスワード認証によって Solo 認証をキャンセルし、Windows にログオンしてから、SmartOn Solo をアンインストールしてください。 詳細については、「3.5 アンインストール」を参照してください。
アンインストールウィザード 起動時	インストールには管理者権限が必要です。インストールを中止します。		ローカル PC の管理者権限を持つ Windows アカウントにてログオンし、SmartOn Solo をアンインストールしてください。
アンインストールウィザード 起動時	Solo の AddOn 製品がインストールされています。全ての AddOn 製品をアンインストール後、再度アンインストールを実行して下さい。		Solo Encrypt などの SmartOn Solo の AddOn 製品をアンインストール後、SmartOn Solo をアンインストールしてください。

ログオン前

機能詳細/ダイアログ名	メッセージ	内容補足	対処方法
PC 起動時	リーダが見つかりません。 Manager のリーダ設定を確認してください。		認証デバイスの接続を確認後、PC を再起動して、同じメッセージが再び表示されるか確認してください。 再表示された場合は、まず、サブパスワード認証または緊急パスワード認証によって Solo 認証をキャンセルしてから、Windows にログオンしてください。次に、Solo マネージャーを使用して認証デバイスを再び設定した後、PC を再起動してください。
PC 起動時	リーダの設定に失敗しました。 Manager のリーダ設定を確認してください。		PC を再起動して同じ操作を行い、同じメッセージが表示されるかを確認してください。 再表示された場合は、まず、サブパスワード認証または緊急パスワード認証によって Solo 認証をキャンセルしてから、Windows にログオンしてください。次に、Solo マネージャーを使用して認証デバイスを再び設定した後、PC を再起動してください。
PC 起動時	日本語の resource dll をロードできません。		PC を再起動して同じ操作を行い、同じメッセージが表示されるかを確認してください。 再表示された場合は、SmartOn Solo を再インストールしてください。
PC 起動時	トークンモジュールをロードできません。		PC を再起動して同じ操作を行い、同じメッセージが表示されるかを確認してください。 再表示された場合は、SmartOn Solo を再インストールしてください。

機能詳細/ダイアログ名	メッセージ	内容補足	対処方法
PC 起動時	SmartOn Solo の評価期限は\$1 年\$2 月\$3 日です。 アンインストールするか、マネージャーで正規ライセンスを登録してください。		Solo 認証がキャンセルされた状態になります。Windows にログオンした後、トークンまたはサブパスワード認証によってSolo マネージャーを起動し、正規ライセンスを登録してください。 正規ライセンスを登録するとSolo 認証によるログオンが可能になります。ログオフし、Solo 認証を使用してログオンしてください。
PC 起動時	SmartOn Solo が正しくインストールされていません。再インストールしてください。	レジストリ値が異常な場合に表示されます。	SmartOn Solo を再インストールしてください。
PC 起動時	リーダのドライバがインストールされていません。または、未サポートのドライバです。リーダのドライバを再インストールしてください。	リーダのドライバがインストールされていない場合、またはSmartOn Solo をインストールした後に未サポートのドライバに更新された場合に表示されます。	Solo 認証がキャンセルされた状態になります。Windows にログオンした後、SmartOn Solo がサポートしているドライバソフトウェアをインストールしてください。
PC 起動時	リーダにアクセス中にエラーが発生しました。(\$1)	\$1:エラーコード	認証デバイスの接続を確認してください。 接続を確認した後に同じメッセージが再び表示される場合は、エラーコードをサポート会社に連絡してください。
PC 起動時	トークンアクセスライブラリは初期化していません。		認証デバイスのドライバソフトウェアの初期化に失敗しました。ドライバソフトウェアを最新版に更新してください。
リモートデスクトップ接続時	このコンピュータへのリモートデスクトップ接続は禁止されています。		SmartOn Solo をインストールすると、リモートデスクトップ接続は禁止されます。

Solo認証(ログオン/PCロック時のパスワード入力またはトークンセット画面)

機能詳細/ダイアログ名	メッセージ	内容補足	対処方法
Solo 認証	未登録のトークンが、セットされています。		Solo マネージャーに登録されているトークンをセットしてください。
Solo 認証	トークンをリーダにセットしてください。		認証デバイスとトークンの状態を確認してください。
Solo 認証	リーダが見つかりません。	認証デバイスにアクセスできない場合に表示されます。	認証デバイスの接続を確認してください。 また、トークンを利用する他のアプリケーションが起動している場合は、サブパスワード認証または緊急パスワード認証によって Solo 認証をキャンセルし、トークンを利用するアプリケーションを終了してください。
パスワード入力画面 (Solo 認証)	パスワードが違います。パスワードを入力するときは、大文字小文字に注意してください。 Capslock キーが有効になっていないか確認してください。		正しいパスワードを入力してください。
PC ロック解除(Solo 認証)	異なるトークンでこのコンピュータのロックを解除できません。	PC ロック時に使用していたトークンではないトークンがセットされた場合に表示されます。	PC ロック前に使用していたトークンをセットしてください。
PC ロック解除(Solo 認証)	ロック解除の Solo 認証に失敗しました。	「マネージャー起動権限を持つユーザーによるロック解除を許可する」設定が有効な場合に、PC ロック時に使用していたトークンと異なるトークンでの PC ロック解除に失敗すると表示されます。	マネージャー起動権限を持つユーザーのトークンか、PC ロック時に使用していたトークンをセットしてください。

サブパスワード認証

機能詳細/ダイアログ名	メッセージ	内容補足	対処方法
サブパスワード認証画面	パスワードが違います。パスワードを入力するときは、大文字小文字に注意してください。Capslock キーが有効になっていないか確認してください。		正しいサブパスワード認証用パスワードを入力してください。
サブパスワード認証後	サブパスワード認証で、ロックを解除しました。 「トークンを外したら、コンピュータをロックする」機能は、ログオフするまで停止します。	サブパスワード認証を行った際に表示されます。	

緊急パスワード認証

機能詳細/ダイアログ名	メッセージ	内容補足	対処方法
緊急パスワード認証画面	緊急パスワードの認証に失敗しました。解除キーを確認してください。		正しい解除キーを入力してください。
緊急パスワード認証画面	緊急パスワードの認証に失敗しました。解除コードを確認してください。		正しい解除コードを入力してください。
緊急パスワード認証画面	緊急パスワードの認証に3回失敗しました。認証コードが変更されました。オペレータに新しい解除コードを尋ねてください。		認証コードによる緊急パスワード認証に3回失敗すると、認証コードおよび解除コードが変更されます。 ライセンスコードと新しい認証コードを再度オペレータに連絡し、解除コードを再発行してもらってください。
緊急パスワード認証後	緊急パスワード認証を行いました。パスワード認証のパスワードを忘れた場合、SmartOn Solo を再インストールしてください。 1. Windows の管理者権限を持つ Windows アカウントでログオンします。 2. SmartOn Solo をアンインストールします。 3. SmartOn Solo を再度インストールします。	緊急パスワード認証を行った際に表示されます。	

Soloマネージャー起動

機能詳細/ダイアログ名	メッセージ	内容補足	対処方法
Solo マネージャー起動時	このユーザーはマネージャーを起動する権限がありません。		Solo マネージャーを起動する権限のある Solo ユーザーでログオンしなおしてから Solo マネージャーを起動してください。
Solo マネージャー起動時	リーダが見つかりません。		認証デバイスの接続を確認してください。
Solo マネージャー起動時	トークンが見つかりません。トークンをセットしてください。		認証デバイスとトークンの状態を確認してください。
Solo マネージャー起動時	トークンが見つかりません。		トークンが正常にセットされていることを確認してください。
Solo マネージャー起動時	パスワード認証に失敗しました。再度入力してください。	不正なパスワードを入力した際に表示されます。	正しいパスワードを入力してください。
サブパスワード認証で Solo マネージャー起動時	サブパスワード認証に失敗しました。再度入力してください。パスワードを入力するときは大文字と小文字に注意してください。	Solo 未起動状態で Windows にログオンし、Solo マネージャーをサブパスワード認証用パスワードで起動する際に、不正なサブパスワード認証用パスワードを入力した場合に表示されます。	正しいサブパスワード認証用パスワードを入力してください。

Soloマネージャー設定

機能詳細/ダイアログ名	メッセージ	内容補足	対処方法
新しいユーザーの登録／ユーザーのプロパティ	このトークンは既に登録されています。別のトークンをセットし、[トークンの変更]ボタンをクリックしてください。		登録されていないトークンをセットしてください。
新しいユーザーの登録／ユーザーのプロパティ	ユーザー名を入力してください。	ユーザー名を空白にして登録した場合に表示されます。	ユーザー名を入力してください。
新しいユーザーの登録／ユーザーのプロパティ	入力されたユーザー名は使用されています。別のユーザー名を入力してください。	既に登録されているユーザー名を指定して登録した場合に表示されます。	登録されていないユーザー名を入力してください。
新しいユーザーの登録／ユーザーのプロパティ	アカウント名を入力してください。	アカウントを空白にして登録した場合に表示されます。	Windows アカウント名を入力してください。
新しいユーザーの登録／ユーザーのプロパティ	名前 \$1 は使用できません。入力された名前は無効な文字、またはピリオド/空白で構成されています。 ユーザー名とアカウントには次の文字を使用できません。 ¥/[] : < > + = ; , ? * "	ユーザー名、アカウントに禁止文字を入力した状態で登録した場合に表示されます。 \$1: 入力した文字列	空白、ピリオドと以下のような禁止文字を避けてユーザー名または Windows アカウント名を設定してください。 ¥/[] : < > + = ; , ? * "
新しいユーザーの登録／ユーザーのプロパティ	入力されたパスワードは一致していません。再度入力してください。		登録するパスワードを正しく入力してください。

機能詳細/ダイアログ名	メッセージ	内容補足	対処方法
新しいユーザーの登録／ ユーザーのプロパティ	ユーザーのパスワードが入力されていません。続行しますか？	パスワードを空白にして登録した場合に表示されます。	パスワードを入力し忘れた場合は続行せずに入力してください。
新しいユーザーの登録／ ユーザーのプロパティ	Windows パスワードは一致していません。再入力してください。		Windows パスワードを正しく入力してください。
新しいユーザーの登録／ ユーザーのプロパティ	Windows パスワードが入力されていません。続行しますか？	Windows パスワードを空白にして登録した場合に表示されます。	Windows パスワードを入力し忘れた場合は、続行せずに入力してください。
新しいユーザーの登録／ ユーザーのプロパティ	リーダが見つかりません。設定を確認してください。		認証デバイスの接続を確認してください。
新しいユーザーの登録／ ユーザーのプロパティ	リーダが見つかりません。		認証デバイスの接続を確認してください。
新しいユーザーの登録／ ユーザーのプロパティ	システムエラー:リーダのアクセスに失敗しました。		認証デバイスの接続を確認してください。
新しいユーザーの登録／ ユーザーのプロパティ	トークンが見つかりません。トークンをセットしてください。		トークンが正常にセットされていることを確認してください。
新しいユーザーの登録／ ユーザーのプロパティ	トークンが見つかりません。		トークンが正常にセットされていることを確認してください。
新しいユーザーの登録／ ユーザーのプロパティ	トークンの情報取得に失敗しました。メモリが不足しています。		PC を再起動してください。
新しいユーザーの登録／ ユーザーのプロパティ	トークンの情報取得に失敗しました。リーダには違うトークンがセットされています。		トークンが正常にセットされていることを確認してください。
新しいユーザーの登録／ ユーザーのプロパティ	トークンのアクセス中にエラーが発生しました。		認証デバイスとトークンの接続状態を確認してください。
新しいユーザーの登録／ ユーザーのプロパティ	システムエラー:ユーザー追加時のエラー		PC を再起動して同じ操作を行い、同じメッセージが表示されるかを確認してください。 再表示された場合は、SmartOn Solo を再インストールしてください。
新しいユーザーの登録／ ユーザーのプロパティ	システムエラー:ユーザー保存時のエラー		PC を再起動して、同じ操作を行い、同じメッセージが表示されるかを確認してください。 再表示された場合は、SmartOn Solo を再インストールしてください。
設定タブ(Solo マネージャー)	トークンを変更するには、マネージャーを終了するまで、[トークンを外したら、コンピュータをロックする]を無効にする必要があります。 続けますか？	[トークンを外したら、コンピュータをロックする]を有効にしている状態で、登録済みユーザーの[トークンの変更]ボタンをクリックした場合に表示されます。	続ける場合、[はい]ボタンをクリックしてください。 マネージャー終了時に、[トークンを外したら、コンピュータをロックする]機能は有効になります。
ユーザー情報タブ(Solo マネージャー)	ログオン中のユーザーは削除できません。		別の Solo ユーザーでログオンし、削除してください。

機能詳細/ダイアログ名	メッセージ	内容補足	対処方法
ユーザー情報タブ (Solo マネージャー)	システムエラー: ユーザー情報の読み込みに失敗しました。		PC を再起動して同じ操作を行い、同じメッセージが表示されるかを確認してください。 再表示された場合は、SmartOn Solo を再インストールしてください。
ユーザー情報タブ (Solo マネージャー)	システムエラー: ユーザーの削除に失敗しました。		PC を再起動して同じ操作を行い、同じメッセージが表示されるかを確認してください。 再表示された場合は、SmartOn Solo を再インストールしてください。
設定タブ (Solo マネージャー)	入力したパスワードは一致していません。再度入力してください。		正しいパスワードを入力してください。
設定タブ (Solo マネージャー)	ユーザーを追加するには、マネージャーを終了するまで、[トークンを外したら、コンピュータをロックする]を無効にする必要があります。 続けますか？	[トークンを外したら、コンピュータをロックする]を有効にしている状態で、[追加]ボタンをクリックした場合に表示されます。	メッセージを確認し、続行してください。
ログタブ (Solo マネージャー)	ログを選択してください。	ログが選択されていない場合に表示されます。	ログを選択してください。
ログタブ (Solo マネージャー)	出力フォルダを入力してください。	ログの出力フォルダが入力されていない場合に表示されます。	ログ出力フォルダのパスを入力してください。
ログタブ (Solo マネージャー)	出力フォルダは CD-ROM ドライブ、リモート(ネットワーク)ドライブ、USB メモリまたは他のリムーバブルドライブに指定できません。		ログ出力フォルダのパスとして、ローカルのハードディスクドライブのフォルダを指定してください。
ログタブ (Solo マネージャー)	指定された出力フォルダは存在していません。作成しますか？		ログ出力フォルダとして指定したフォルダを作成するのであれば、[はい]ボタンをクリックしてフォルダを作成してください。
ログタブ (Solo マネージャー)	ルートフォルダは出力フォルダにできません。他のフォルダを入力してください。		ルートフォルダ以外のフォルダをログ出力フォルダとして入力してください。
ログタブ (Solo マネージャー)	ログの出力フォルダの作成に失敗しました。フォルダ設定を確認してください。		ログ出力フォルダを再入力してください。
ログタブ (Solo マネージャー)	ログ出力フォルダに無効な文字が入力されています。		ログ出力フォルダを再入力してください。
ログタブ (Solo マネージャー)	ログの出力フォルダは半角 200 文字以内で指定してください。		ログ出力フォルダを再入力してください。

機能詳細/ダイアログ名	メッセージ	内容補足	対処方法
その他	データファイルが見つかりません。または壊れています。Soloを再インストールしてください。		PC を再起動して同じ操作を行い、同じメッセージが表示されるかを確認してください。 再表示された場合は、SmartOn Solo を再インストールしてください。
その他	システムエラー：メモリ エラー		PC を再起動して同じ操作を行い、同じメッセージが表示されるかを確認してください。 再表示された場合は、SmartOn Solo を再インストールしてください。
その他	システムエラー：ファイルヘッダの取得に失敗しました。		PC を再起動して同じ操作を行い、同じメッセージが表示されるかを確認してください。 再表示された場合は、SmartOn Solo を再インストールしてください。
その他	システムエラー：マネージャー設定情報の取得に失敗しました。		PC を再起動して同じ操作を行い、同じメッセージが表示されるかを確認してください。 再表示された場合は、SmartOn Solo を再インストールしてください。
その他	システムエラー：データの保存に失敗しました。		PC を再起動して同じ操作を行い、同じメッセージが表示されるかを確認してください。 再表示された場合は、SmartOn Solo を再インストールしてください。
その他	システムエラー：メモリが不足しています。		PC を再起動して同じ操作を行い、同じメッセージが表示されるかを確認してください。 再表示された場合は、SmartOn Solo を再インストールしてください。
その他	Solo 認証に失敗しました。再度入力してください。	正しいトークンをセットし、正しくパスワードを入力している場合に出力してはいけないエラーメッセージです。	PC を再起動して同じ操作を行い、同じメッセージが表示されるかを確認してください。 再表示された場合は、SmartOn Solo を再インストールしてください。

機能詳細/ダイアログ名	メッセージ	内容補足	対処方法
その他	設定の読み取りに失敗しました。	レジストリ値の取得失敗時に表示されます。	PC を再起動して同じ操作を行い、同じメッセージが表示されるかを確認してください。 再表示された場合は、SmartOn Solo を再インストールしてください。
その他	トークン設定の読み取りに失敗しました。	レジストリ値の取得失敗時に表示されます。	PC を再起動して同じ操作を行い、同じメッセージが表示されるかを確認してください。 再表示された場合は、SmartOn Solo を再インストールしてください。
その他	内部エラーが発生しました。Solo を再インストールしてください。	DLL のロードに失敗した場合に表示されます。	PC を再起動して同じ操作を行い、同じメッセージが表示されるかを確認してください。 再表示された場合は、SmartOn Solo を再インストールしてください。
その他	システムエラー:ログ設定の保存が失敗しました。管理者に連絡してください。		PC を再起動して同じ操作を行い、同じメッセージが表示されるかを確認してください。 再表示された場合は、SmartOn Solo を再インストールしてください。
その他	システムエラー:レジストリにログ情報は存在していません。[ログ]タブで設定し、保存してください。		PC を再起動して同じ操作を行い、同じメッセージが表示されるかを確認してください。 再表示された場合は、SmartOn Solo を再インストールしてください。
その他	システムエラー: SoloHidden の設定の保存に失敗しました。管理者に連絡してください。		PC を再起動して同じ操作を行い、同じメッセージが表示されるかを確認してください。 再表示された場合は、SmartOn Solo を再インストールしてください。
新しいライセンスの登録	入力されたライセンスキーは異常です。確認してください。		正規のライセンスキーを正しく入力してください。

Soloマネージャー終了

機能詳細/ダイアログ名	メッセージ	内容補足	対処方法
Solo マネージャー終了時	終了する前に変更を保存しなくてもよろしいですか？	マネージャー設定の変更後、[適用]ボタンをクリックせずに[キャンセル]ボタン、または右上の[×]ボタンをクリックした場合に表示されます。	Solo マネージャーの設定を保存せずに終了する場合は、そのまま Solo マネージャーの終了を続行してください。
Solo マネージャー終了時	トークンの監視を再開します。 \$1 のトークンをリーダにセットしてください。	Solo ユーザーの追加・編集において、トークン変更のためにトークン監視を中止していた場合、Solo マネージャーの終了時に表示されます。 \$1:ログオン中のユーザー名	\$1 のトークンがセットされていることを確認してください。セットしていない場合はセットしてください。
Solo マネージャー終了時	全ユーザーが Manager を起動できません。1 ユーザーは Manager を起動できることを確認してください。	Solo マネージャーを起動できる Solo ユーザーがいない状態で[OK]ボタンまたは[適用]ボタンをクリックした場合に表示されます。	Solo マネージャーを起動できる Solo ユーザーを 1 ユーザー以上登録してください。

パスワード変更

機能詳細/ダイアログ名	メッセージ	内容補足	対処方法
パスワード変更	古いパスワードが正しくありません。再度入力してください。 パスワードでは大文字と小文字の区別に注意してください。	古いパスワードに不正な値を入力した場合に表示されます。	これまで設定されていたパスワード(古いパスワード)を正しく入力してください。

付録B. ログ出力内容一覧

SmartOn Solo が出力するログは以下の通りです。

ログ出力例

ログは Solo マネージャーの【ログ】タブにある【出力フォルダ】欄で指定したフォルダに出力されます。

日付	モジュール名	ユーザー名	ステータスコード	オリジナルコード	ログメッセージ
2006/07/24-16:34:55	SLO	user	2111	0	Solo 認証に成功しました。
2006/07/24-16:34:55	SLO	user	2131	0	<administrator>が Windows にログオンしました。
2006/07/24-16:35:54	SLO	user	2141	0	コンピュータをロックしました。
2006/07/24-16:35:59	SLO	user	2142	0	<administrator>はコンピュータのロックを解除しました。
2006/07/24-16:38:39	SLO		5102	0	<administrator>が Windows からログオフしました。

SmartOn Solo が作成するログファイルは、拡張子が「LOG」、形式がカンマ区切りのファイルになります。

```
2006/07/24-16:34:55,SLO,user,2111,0,Solo 認証に成功しました。
2006/07/24-16:34:55,SLO,user,2131,0,<administrator>が Windows にログオンしました。
2006/07/24-16:35:54,SLO,user,2141,0,コンピュータをロックしました。
2006/07/24-16:35:59,SLO,user,2142,0,<administrator>はコンピュータのロックを解除しました。
2006/07/24-16:38:39,SLO,,5102,0,<administrator>が Windows からログオフしました。
```

Logon

起動・シャットダウン(x10x)

ステータスコード	オリジナルコード	ログ出力内容	説明
5101	常に 0	SmartOn Solo が起動しました。	SmartOn Solo が起動すると出力されます。
5102	常に 0	<\$1>が Windows からログオフしました。	ユーザーが Windows からログオフすると出力されます。 \$1: Windows アカウント
5103	常に 0	コンピュータをシャットダウンします。	PC をシャットダウンすると出力されます。
4104	常に 0	評価ライセンスのライセンス期間が過ぎました。	SmartOn Solo をインストールしてから2週間が過ぎると出力されます。
4105	常に 0	期限付きライセンスのライセンス期間が過ぎました。	期限付きライセンスの指定日を過ぎると出力されます。

Solo認証(x11x) <Windowsログオン前>

ステータスコード	オリジナルコード	ログ出力内容	説明
2111	常に 0	Solo 認証に成功しました。	Solo 認証に成功すると出力されます。
5112	常に 0	Solo 認証をサブパスワード認証でキャンセルしました。	サブパスワード認証で Solo 認証をキャンセルすると出力されます。
5113	常に 0	Solo 認証を緊急パスワード認証でキャンセルしました。	緊急パスワード認証で Solo 認証をキャンセルすると出力されます。
5114	常に 0	Solo 認証をキャンセルしました。	「Windows ログオン前に必ず Solo 認証を行う」設定が無効の場合に、ESC キーなどで Solo 認証をキャンセルすると出力されます。
4111	エラーコード	パスワード認証に失敗しました。	Solo 認証の設定が「パスワード認証」の場合に、パスワード認証による Solo 認証に失敗すると出力されます。
4112	エラーコード	トークン認証に失敗しました。	Solo 認証の設定が「トークンの確認」の場合に、不正なトークンをセットして Solo 認証に失敗すると出力されます。
4113	常に 0	未登録のトークンで認証しました。	SmartOn Solo に登録されていないトークンで認証を行うと出力されます。
4114	常に 0	サブパスワード認証に失敗しました。	サブパスワード認証に失敗すると出力されます。
4115	0:解除コード 1:解除キー	緊急パスワード認証に失敗しました。	緊急パスワード認証に失敗すると出力されます。

Windows認証(x13x)

ステータスコード	オリジナルコード	ログ出力内容	説明
2131	常に 0	<\$1>が Windows にログオンしました。	Windows ログオン認証に成功すると出力されます。 \$1: Windows アカウント
5131	常に 0	Solo の Windows アカウントデータ<\$1>を更新しました。	以下の操作時のログとして出力されます。 1.Solo 認証成功 2.Windows Logon(自動入力) ->ログオン失敗 3.Windows Logon(手入力) ->ログオン成功 \$1: Windows アカウント

PCのロック解除認証(x14x)

ステータスコード	オリジナルコード	ログ出力内容	説明
2141	常に 0	コンピュータをロックしました。	PC ロックを行うと出力されます。PC ロックについては、「5.4 PC ロック/ロック解除」を参照してください。
2142	常に 0	[\$1]はコンピュータのロックを解除しました。	PC ロックを解除すると出力されます。 \$1: Windows アカウント
2143	常に 0	サブパスワード認証で、ロックを解除しました。	サブパスワード認証によって PC ロックを解除すると出力されます。
2144	常に 0	緊急パスワード認証で、ロックを解除しました。	緊急パスワード認証によって PC ロックを解除すると出力されます。
2146	常に 0	異なるユーザーがロックを解除しました。	「マネージャー起動権限を持つユーザーによるロック解除を許可する」設定が有効な場合に、PC ロック時に使用していたトークンと異なるトークンで PC ロック解除すると出力されます。
4141	エラーコード	パスワード認証に失敗しました。	Solo 認証の設定が「パスワード認証」の場合に、PC ロック解除時のパスワード認証に失敗すると出力されます。
4142	エラーコード	トークン認証に失敗しました。	Solo 認証の設定が「トークンの確認」の場合に、PC ロック解除時に不正なトークンをセットすると出力されます。
4143	常に 0	ロック時とは異なるトークンで認証しました	PC ロック時に使用していたトークンと異なるトークンで PC ロック解除の認証を実行すると出力されます。
4144	常に 0	サブパスワード認証に失敗しました。	サブパスワード認証による PC ロック解除に失敗すると出力されます。
4145	0: 緊急 1: 解除コード	緊急パスワード認証に失敗しました。	緊急パスワード認証による PC ロック解除に失敗すると出力されます。
4146	常に 0	ロック解除の Solo 認証に失敗しました。	「マネージャー起動権限を持つユーザーによるロック解除を許可する」設定が有効な場合に、PC ロック時に使用していたトークンと異なるトークンでの PC ロック解除に失敗すると出力されます。

パスワード変更(x15x)

ステータスコード	オリジナルコード	ログ出力内容	説明
2151	常に 0	Solo の Windows アカウントデータ<\$1>を更新しました。	オプションダイアログから、Windows アカウントパスワードの変更を行うと出力されます。 \$1: Windows アカウント
2152	常に 0	パスワードを変更しました。	タスクトレイメニューから、パスワードを変更すると出力されます。

Solo(Manager)

起動、終了(x20x)

ステータスコード	オリジナルコード	ログ出力内容	説明
5201	常に 0	マネージャーを起動しました。	Solo マネージャーを起動すると出力されます。
5202	常に 0	マネージャーを起動する権限がありません。	Solo マネージャーを起動する権限のない Solo ユーザーが、Solo マネージャーを起動すると出力されます。

Solo認証 (x21x) <Manager起動時>

ステータスコード	オリジナルコード	ログ出力内容	説明
2211	常に 0	マネージャー起動のパスワード認証に成功しました。	Solo 認証の設定が「パスワード認証」の場合に、Solo マネージャー起動時にパスワード認証に成功すると出力されます。
2212	常に 0	マネージャー起動のトークン認証に成功しました。	Solo 認証の設定が「トークンの確認」の場合に、Solo マネージャー起動時にトークンによる認証に成功すると出力されます。
2213	常に 0	マネージャー起動のサブパスワード認証に成功しました。	サブパスワード認証による Solo マネージャーの起動に成功すると出力されます。
4211	エラーコード	パスワード認証に失敗しました。	Solo 認証の設定が「パスワード認証」の場合に、Solo マネージャー起動時にパスワード認証に失敗すると出力されます。
4212	エラーコード	トークン認証に失敗しました。	Solo 認証の設定が「トークンの確認」の場合に、Solo マネージャー起動時にトークンによる認証に失敗すると出力されます。
4213	常に 0	未登録のトークンで認証しました。	Solo マネージャー起動時に SmartOn Solo に登録されていないトークンで認証が試みられると出力されます。
4214	常に 0	サブパスワード認証に失敗しました。	Solo マネージャー起動時にサブパスワード認証に失敗すると出力されます。

保存 (x22x)

ステータスコード	オリジナルコード	ログ出力内容	説明
2221	常に 0	設定を保存しました。	Solo マネージャーの[適用]ボタンや[OK]ボタンをクリックし、設定を保存すると出力されます。
4221	エラーコード	設定保存中にエラーが発生しました。	Solo マネージャーの設定保存中にエラーが発生すると出力されます。

Solo Hide Module

起動 (x30x)

ステータスコード	オリジナルコード	ログ出力内容	説明
4301	エラーコード	内部エラー	内部エラーが発生すると出力されます。
4302	エラーコード	内部エラー	内部エラーが発生すると出力されます。
4303	エラーコード	内部エラー	内部エラーが発生すると出力されます。
4304	エラーコード	内部エラー	内部エラーが発生すると出力されます。
4305	エラーコード	内部エラー	内部エラーが発生すると出力されます。
2301	常に 0	Solo Hide が起動しました。	インストール時に「ファイル・フォルダ隠し拡張機能を使用する」を選択している場合に出力されます。

Soliton SmartOn ® Solo V1.2 ユーザーズガイド（USB2-NFC、NFC-ST、NFC-RW 対応版）

2008 年 5 月

第一版

発行 **株式会社 ソリトンシステムズ**
〒160-0022 東京都新宿区新宿 2-4-3
Printed in Japan

Copyright© 2006-2008, Soliton Systems K.K

本書を当社に無断で複写複製（コピー）、転載することは禁じます。
本書の内容は製品改良などのため、予告なく変更される場合があります。
本書に記載されたデータ等の使用に因る逸失利益、損害等については当社は一切その責を負いません。
乱丁、落丁本はお取り替え致します。



株式会社ソリトンシステムズ
〒160-0022 東京都新宿区新宿 2-4-3
<http://www.soliton.co.jp>